

新日本石油株式会社

2009年度 第3四半期決算説明会

取締役 常務執行役員経営管理第1本部長
平井 茂雄

2010年1月29日



新日本石油
Your Choice of Energy

I . 09年度 第3四半期決算概要

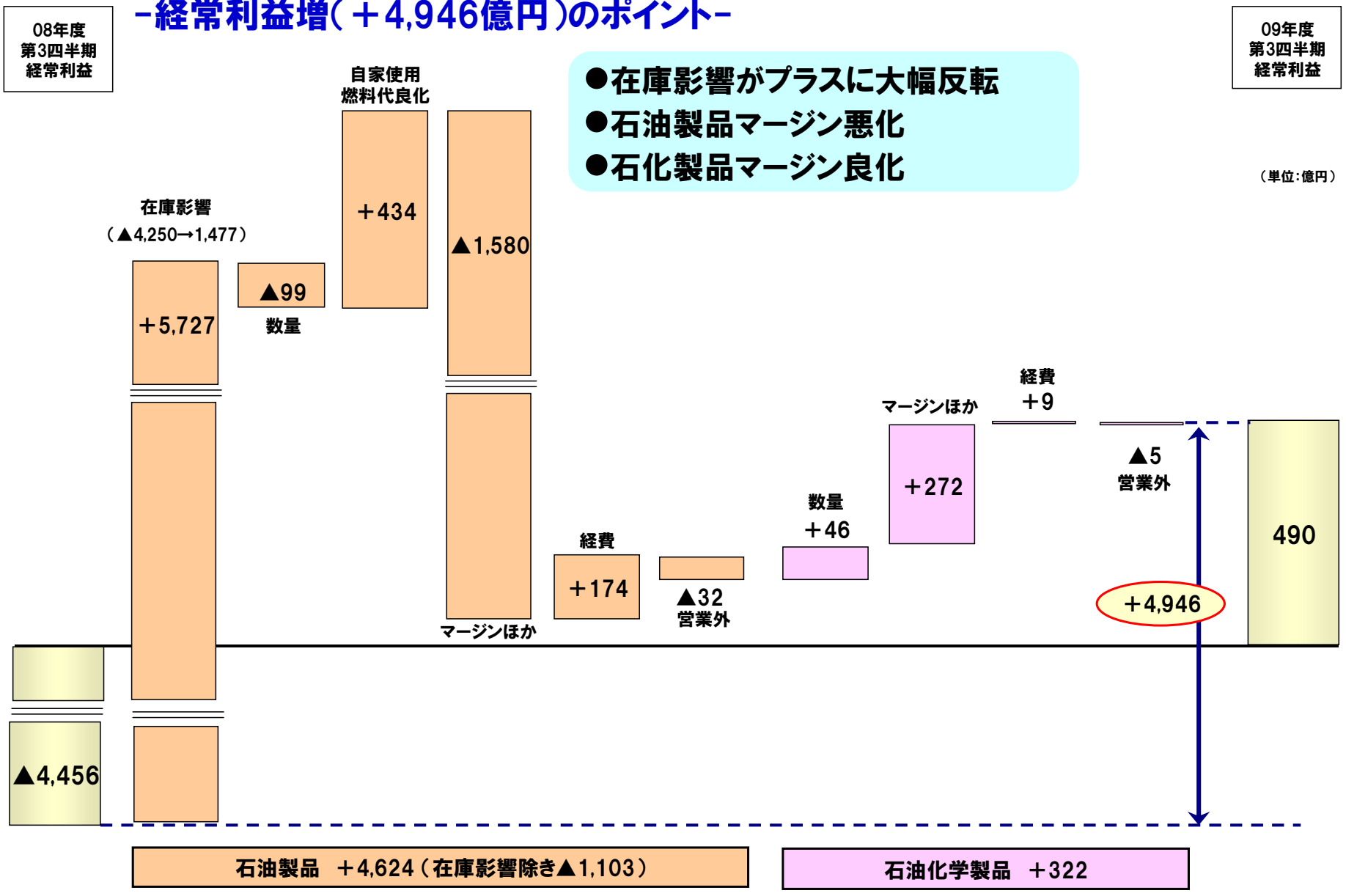
<09年度第3四半期（09/4-12月）損益概要>

	08年度第3四半期 (08/4-12月)		→	09年度第3四半期 (09/4-12月)	
					うち09/10-12月
原油価格 (\$/Bbl)	99.4	▲33.8		65.6	73.8
為替レート (円/\$)	103.7	▲9.5		94.2	89.8
ジョイント等除き 販売数量 (万KL)	4,961	▲430		4,531	1,627
売上高	(億円) 60,824	(億円) ▲19,590		(億円) 41,234	(億円) 15,053
営業利益 (在庫影響)	▲3,566	+4,382		816	104
(在庫影響除き)	(▲4,250) (684)	(+5,727) (▲1,345)		(1,477) (▲661)	(353) (▲249)
営業外損益	53	+234		287	122
経常利益 (在庫影響除き)	▲3,513	+4,616		1,103	226
	(737)	(▲1,111)		(▲374)	(▲127)
特別損益	▲164	▲87		▲251	▲82
当期純利益	▲2,245	+2,770		525	83

<09年度第3四半期 セグメント別経常利益の増減>

	08年度第3四半期 (08/4-12月)	→	09年度第3四半期 (09/4-12月)
	(億円)		(億円)
I. 石油精製・販売	▲4,456		490
うち 石油製品	▲4,152		472
(在庫影響)	(▲4,250)	(+5,727)	(1,477)
(在庫影響除き)	(98)	(▲1,103)	(▲1,005)
うち 石油化学製品	▲304	+322	18
II. 石油・天然ガス開発	879	▲437	442
III. 建設・その他	64	+107	171
経常利益計	▲3,513	+4,616	1,103
(在庫影響除き)	(737)	(▲1,111)	(▲374)

<09年度第3四半期 石油精製・販売部門 経常利益増減分析(前年同期比)>

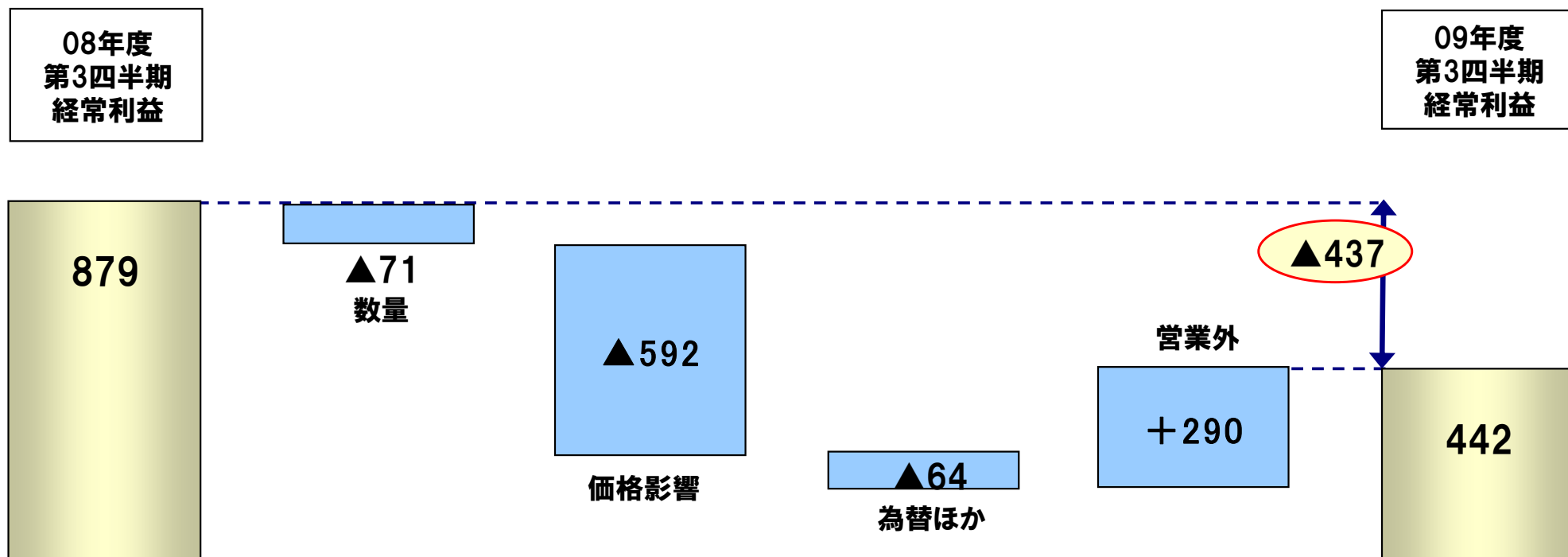


<09年度第3四半期 石油・天然ガス開発部門 経常利益増減分析(前年同期比)>

-経常利益減(▲437億円)のポイント-

- 販売価格の下落等により減益

(単位:億円)



II. 09年度決算見通し概要

<09年度損益見通し概要 (10月公表比)>

	09年度見通し (10月公表)	→	09年度見通し (今回)
原油価格 (\$/Bbl)	ドバイ原油 10月積み~ 70\$/B 66.0	+3.2	ドバイ原油 1月積み~ 80\$/B 69.2
為替レート (円/\$)	93.2	±0.0	93.2
ジョイント等除き 販売数量 (万KL)	6,130	+50	6,180
売上高 (億円)	57,500	+1,100	58,600
営業利益 (在庫影響)	1,250	▲260	990
(在庫影響除き)	(1,370)	(+430)	(1,800)
	(▲120)	(▲690)	(▲810)
営業外損益	220	±0	220
経常利益 (在庫影響除き)	1,470	▲260	1,210
	(100)	(▲690)	(▲590)
特別損益	▲190	▲190	▲380
当期純利益	680	▲340	340

<09年度セグメント別経常利益見通しの増減（10月公表比）>

	09年度見通し (10月公表)	→	09年度見通し (今回)
	(億円)		(億円)
I. 石油精製・販売	810	▲250	560
うち 石油製品 (在庫影響)	950	▲430	520
(在庫影響除き)	(1,370)	(+430)	(1,800)
うち 石油化学製品	(▲420)	(▲860)	(▲1,280)
▲140	+180		40
II. 石油・天然ガス開発	500	▲80	420
III. 建設・その他	160	+70	230
経常利益計	1,470	▲260	1,210
(在庫影響除き)	(100)	(▲690)	(▲590)

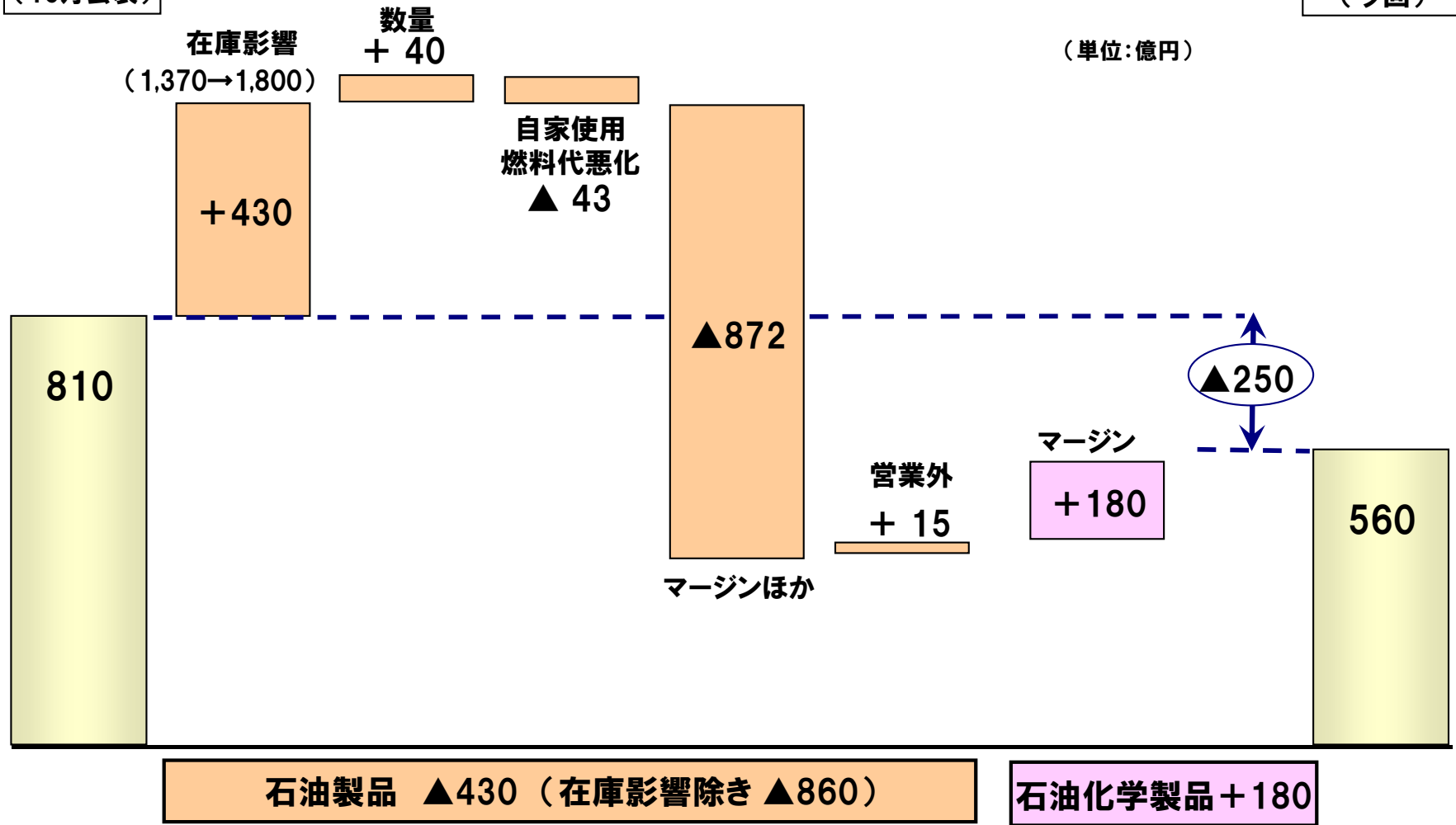
<09年度 石油精製・販売部門 経常利益見通し増減分析(10月公表比)>

-経常利益減(▲250億円)のポイント-

- 在庫影響が良化するものの、石油製品マージン悪化により減益
- 石化製品マージン良化

09年度
経常利益
(10月公表)

09年度
経常利益
(今回)



<09年度 石油・天然ガス開発部門 経常利益見通し増減分析(10月公表比)>

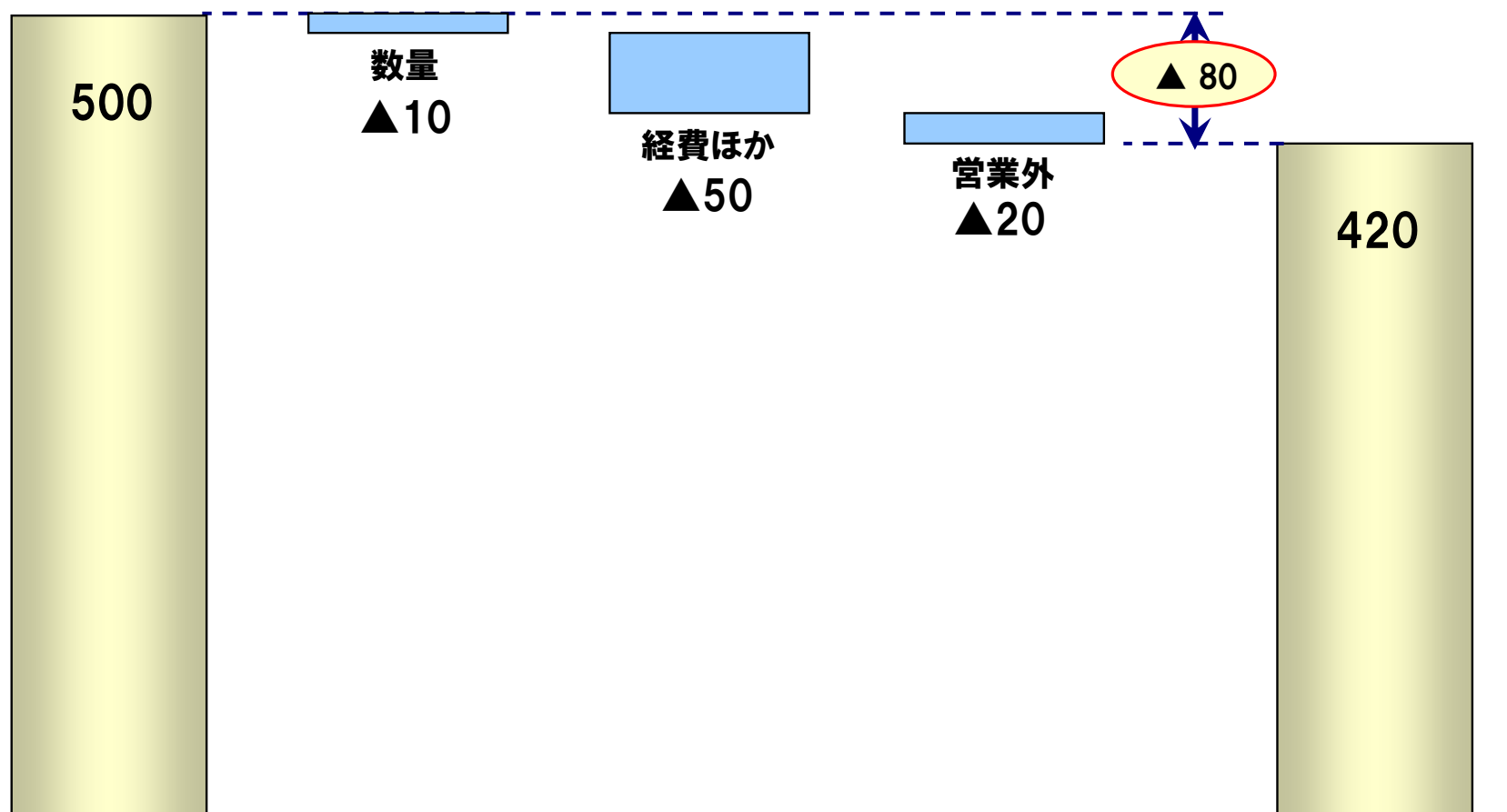
-経常利益減(▲80億円)のポイント-

09年度
経常利益
(10月公表)

●経費増等により減益

09年度
経常利益
(今回)

(単位:億円)



本説明会資料やIR全般に関するご意見、ご感想、お問い合わせは、
下記のIR担当までお願いいたします。

新日本石油株式会社
経営管理第1本部 IR部IRグループ
TEL(03)-3502-1184

<http://www.eneos.co.jp>

<見通しに関する注意事項>

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標等のうち、歴史的事実でないものにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営陣が判断したものであります。

実際の業績等につきましては、さまざまな要素により、これらの業績見通し等と大きく異なる結果になりうることをご承知置き下さい。従いまして、業績見通し等に全面的に依拠して投資判断を下すことは、控えていただきますようお願いいたします。

なお、実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油・石油化学製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

新日本石油株式会社 2009年度第3四半期決算

参考データ集

2010年1月29日

<目次>

1. 09年度第3四半期決算関連

セグメント別売上高・営業利益・経常利益 前年同期比	4P
セグメント別売上高他 09年度見通し(10月公表比)	5P
セグメント別売上高他 09年度見通し(前年実績比)	6P
セグメント別経常利益 09年度見通し(増減分析)	7P
実質有利子負債	8P
油種別販売数量(単体)	9P
09年度:前提変化による期間損益影響額(概算)	10P

2. 燃料油・石化市況データ

スプレッド(ガソリン末端価格-原油CIF)の推移	12P
スプレッド(ガソリンスポット価格-原油CIF)の推移	13P
スプレッド(灯油スポット価格-原油CIF)の推移	14P
スプレッド(軽油スポット価格-原油CIF)の推移	15P
スプレッド(A重油スポット価格-原油CIF)の推移	16P
スプレッド(パラキシレンードバイ)の推移	17P
スプレッド(ベンゼンードバイ)の推移	18P
スプレッド(プロピレンードバイ)の推移	19P

3. 石油関連事業

精製能力およびトッパ稼働率の推移	21P
販売シェア(白油4品・消費ベース)	22P
固定式SS数	23P
社有SS数、セルフSS数、Dr. Drive数	24P
油槽所数、従業員数	25P
主な海外拠点	26P
当社グループ製油所一覧	27P

4. 石油・天然ガス開発プロジェクト関連

主な石油・天然ガス開発プロジェクト拠点	29P
主な石油・天然ガス開発プロジェクトの概要	30P
当社の埋蔵量評価基準について	31P
確認埋蔵量および推定埋蔵量の定義	32P
個別プロジェクトの概要(米国メキシコ湾)	33P
" (英国北海)	34P ~ 37P
" (ベトナム)	38P
" (ミャンマー)	39P
" (マレーシア)	40P
" (サラワク)	41P ~ 42P
" (マレー半島沖海上)	43P
" (インドネシア)	44P
" (パプアニューギニア)	45P
" (オーストラリア)	46P ~ 47P
" (カナダ)	48P
" (リビア)	49P
" (タイ)	50P

1. 09年度第3四半期決算関連

<セグメント別売上高・営業利益・経常利益 第3四半期累計(前年同期比)>

(単位:億円)

	08年度第3四半期累計			増 減			09年度第3四半期累計		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
石油精製・販売部門	56,281	▲4,635	▲4,456	▲18,865	+4,983	+4,946	37,416	348	490
(在庫影響除き)	—	(▲385)	(▲206)	—	(▲744)	(▲781)	—	(▲1,129)	(▲987)
うち 石油製品	52,669	▲4,342	▲4,152	▲17,970	+4,656	+4,624	34,699	314	472
(在庫影響)	—	(▲4,250)	(▲4,250)	—	(+5,727)	(+5,727)	—	(1,477)	(1,477)
(在庫影響除き)	—	(▲92)	(98)	—	(▲1,071)	(▲1,103)	—	(▲1,163)	(▲1,005)
うち 石油化学製品	3,612	▲293	▲304	▲895	+327	+322	2,717	34	18
石油・天然ガス開発部門	1,934	1,005	879	▲896	▲727	▲437	1,038	278	442
建設部門	2,188	▲1	11	+130	+107	+97	2,318	106	108
その他部門	421	65	53	+41	+19	+10	462	84	63
合 計	60,824	▲3,566	▲3,513	▲19,590	+4,382	+4,616	41,234	816	1,103
(在庫影響除き)	—	(684)	(737)	—	(▲1,345)	(▲1,111)	—	(▲661)	(▲374)

<セグメント別売上高・営業利益・経常利益 09年度見通し(10月公表比)>

(単位:億円)

	09年度見通し(10月公表)			増 減			09年度見通し(1月公表)		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
石油精製・販売部門	51,660	730	810	+1,150	▲265	▲250	52,810	465	560
(在庫影響除き)	—	(▲640)	(▲560)	—	(▲695)	(▲680)	—	(▲1,335)	(▲1,240)
うち 石油製品	47,490	850	950	+1,450	▲445	▲430	48,940	405	520
(在庫影響)	—	(1,370)	(1,370)	—	(+430)	(+430)	—	(1,800)	(1,800)
(在庫影響除き)	—	(▲520)	(▲420)	—	(▲875)	(▲860)	—	(▲1,395)	(▲1,280)
うち 石油化学製品	4,170	▲120	▲140	▲300	+180	+180	3,870	60	40
石油・天然ガス開発部門	1,450	330	500	+20	▲60	▲80	1,470	270	420
建設部門	3,770	100	100	▲70	+70	+75	3,700	170	175
その他部門	620	90	60	±0	▲5	▲5	620	85	55
合 計	57,500	1,250	1,470	+1,100	▲260	▲260	58,600	990	1,210
(在庫影響除き)	—	(▲120)	(100)	—	(▲690)	(▲690)	—	(▲810)	(▲590)

<セグメント別売上高・営業利益・経常利益 09年度見通し(前年実績比)>

(単位:億円)

	08年度(実績)			増 減			09年度見通し(1月公表)		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
石油精製・販売部門	67,605	▲4,344	▲4,113	▲14,795	+4,809	+4,673	52,810	465	560
(在庫影響除き)	—	(126)	(357)	—	(▲1,461)	(▲1,597)	—	(▲1,335)	(▲1,240)
うち 石油製品	63,404	▲4,006	▲3,757	▲14,464	+4,411	+4,277	48,940	405	520
(在庫影響)	—	(▲4,470)	(▲4,470)	—	(+6,270)	(+6,270)	—	(1,800)	(1,800)
(在庫影響除き)	—	(464)	(713)	—	(▲1,859)	(▲1,993)	—	(▲1,395)	(▲1,280)
うち 石油化学製品	4,201	▲338	▲356	▲331	+398	+396	3,870	60	40
石油・天然ガス開発部門	2,186	1,064	1,211	▲716	▲794	▲791	1,470	270	420
建設部門	3,565	75	86	+135	+95	+89	3,700	170	175
その他部門	536	80	62	+84	+5	▲7	620	85	55
合 計	73,892	▲3,125	▲2,754	▲15,292	+4,115	+3,964	58,600	990	1,210
(在庫影響除き)	—	(1,345)	(1,716)	—	(▲2,155)	(▲2,306)	—	(▲810)	(▲590)

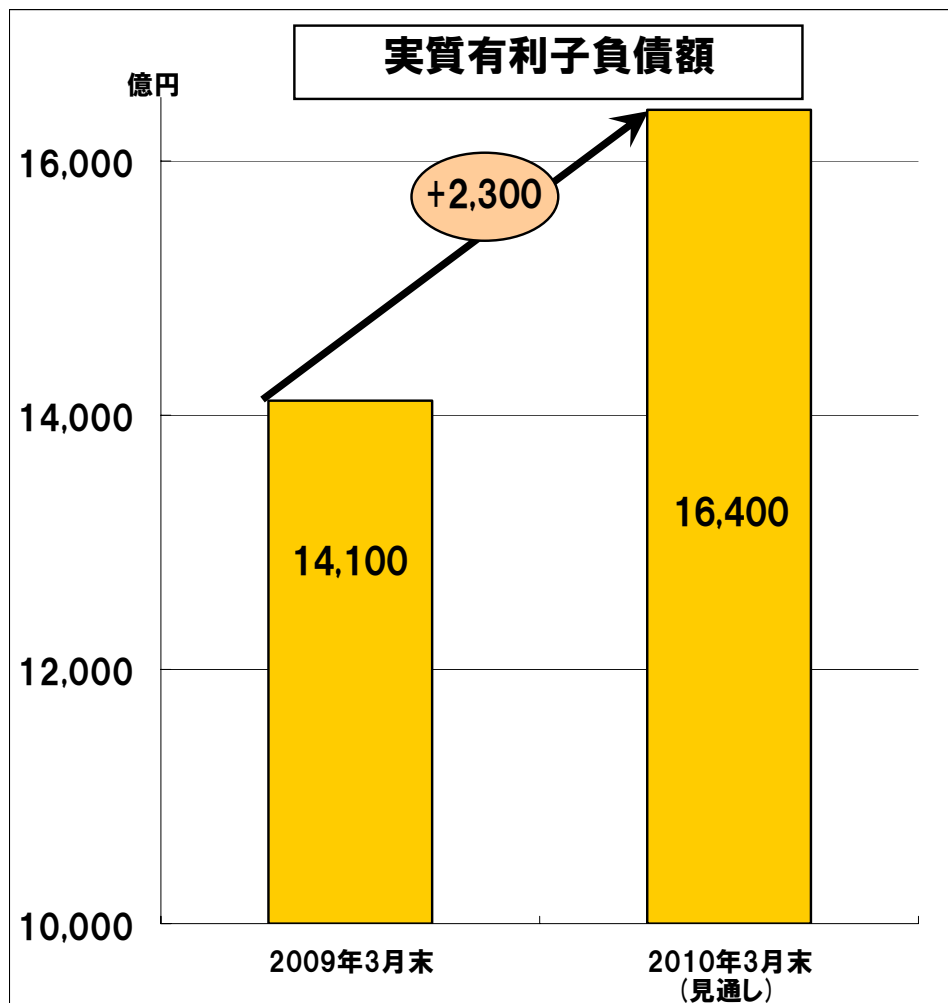
<セグメント別経常利益(年度見通し)増減分析 (前年実績比)>

経常利益: 1,210億円 (前年比 +3,964億円)

在庫影響除き: ▲590億円 (前年比 ▲2,306億円)

1. 石油精製・販売(▲4,113⇒560)		+4,673	億円	
石油 製品	(1)在庫影響(▲4,470⇒1,800)	+6,270	}	+4,277
	(2)販売数量減	▲110		
	(3)マージンほか	▲1,917		
	(4)経費減	+168		
	(5)営業外	▲134		
石油 化学 製品	(6)販売数量増	+35	}	+396
	(7)マージンほか	+363		
	(8)営業外	▲2		
2. 石油・天然ガス開発(1,211⇒420)		▲791	億円	
(1)販売価格ほか		▲794		
(2)営業外		+3		
3. 建設・その他(148⇒230)		+82	億円	
			+3,964	

<実質有利子負債>



資金収支見通し

2009年度見通し (10月公表) → 2009年度見通し (今回)

	億円	
営業活動関連		
税金等調整前純利益	1,280	830
減価償却費	1,760	1,760
運転資金ほか	▲2,420	▲3,100
小計	620	▲510
投資活動関連		
設備投資	▲1,380	▲1,450
小計	▲1,380	▲1,450
財務活動関連		
配当	▲340	▲340
小計	▲340	▲340
合計	▲1,100	▲2,300

<09年度 油種別販売数量 (単体)>

油種	08年度 第3四半期 累計	09年度 第3四半期 累計	増減率(%)
	万KL	万KL	%
揮発油	1,012	1,086	+7.2
(ハイオク)	(157)	(163)	+3.0
(レギュラー)	(845)	(916)	+8.3
ナフサ	141	137	▲3.3
ジェット	85	94	+10.7
灯油	288	347	+20.6
軽油	611	617	+1.1
A重油	371	351	▲5.2
C重油	577	394	▲31.8
(電力C重油)	(385)	(204)	(▲47.0)
(一般C重油)	(192)	(190)	(▲1.3)
内需燃料油計	3,085	3,026	▲1.9
原油	217	83	▲61.9
潤滑油・特品	172	160	▲7.0
化学品	264	303	+14.8
LPG・石炭	544	415	▲23.7
輸出燃料油	679	544	▲19.9
ジョイント等除き計	4,961	4,531	▲8.7
ジョイント等	1,367	1,350	▲1.3
総計	6,328	5,881	▲7.1

<09年度:前提変化による期間損益影響額(概算)>

- 経常利益ベース -

年度見通し前提(2010年1月積み以降)

原油価格 ドバイ 80 \$/Bbl
為替レート 90 円/\$

(単位:億円)

	原油価格	為替レート
	5\$/Bbl 下落	5円/\$ 円高
石油精製・販売部門	+10	▲5
石油・天然ガス開発部門	-	-
小計 (在庫影響除き)	+10	▲5
在庫影響	▲130	▲100
合計 (在庫影響含み)	▲120	▲105

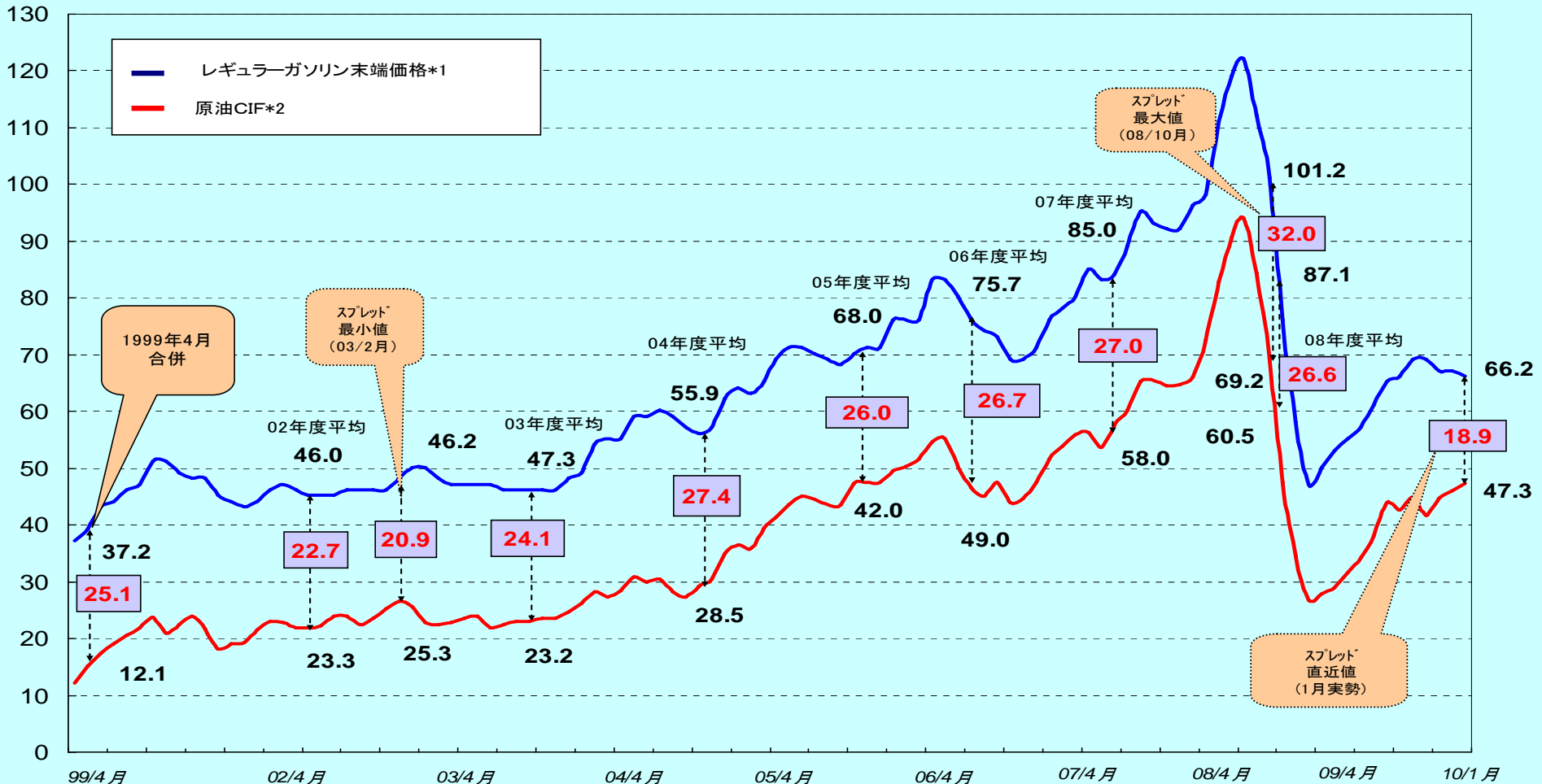
注:上記影響額は、一定の前提の下での理論値であり、原油価格や為替レートの動き方および生産・販売・在庫数量等の状況により、実際の影響額は変動します。

また、石油開発会社は、12月決算であるため、1月以降の原油価格および為替レート変動による影響はありません。

2. 燃料油・石化市況データ

<スプレッド（ガソリン末端価格 - 原油CIF）の推移>

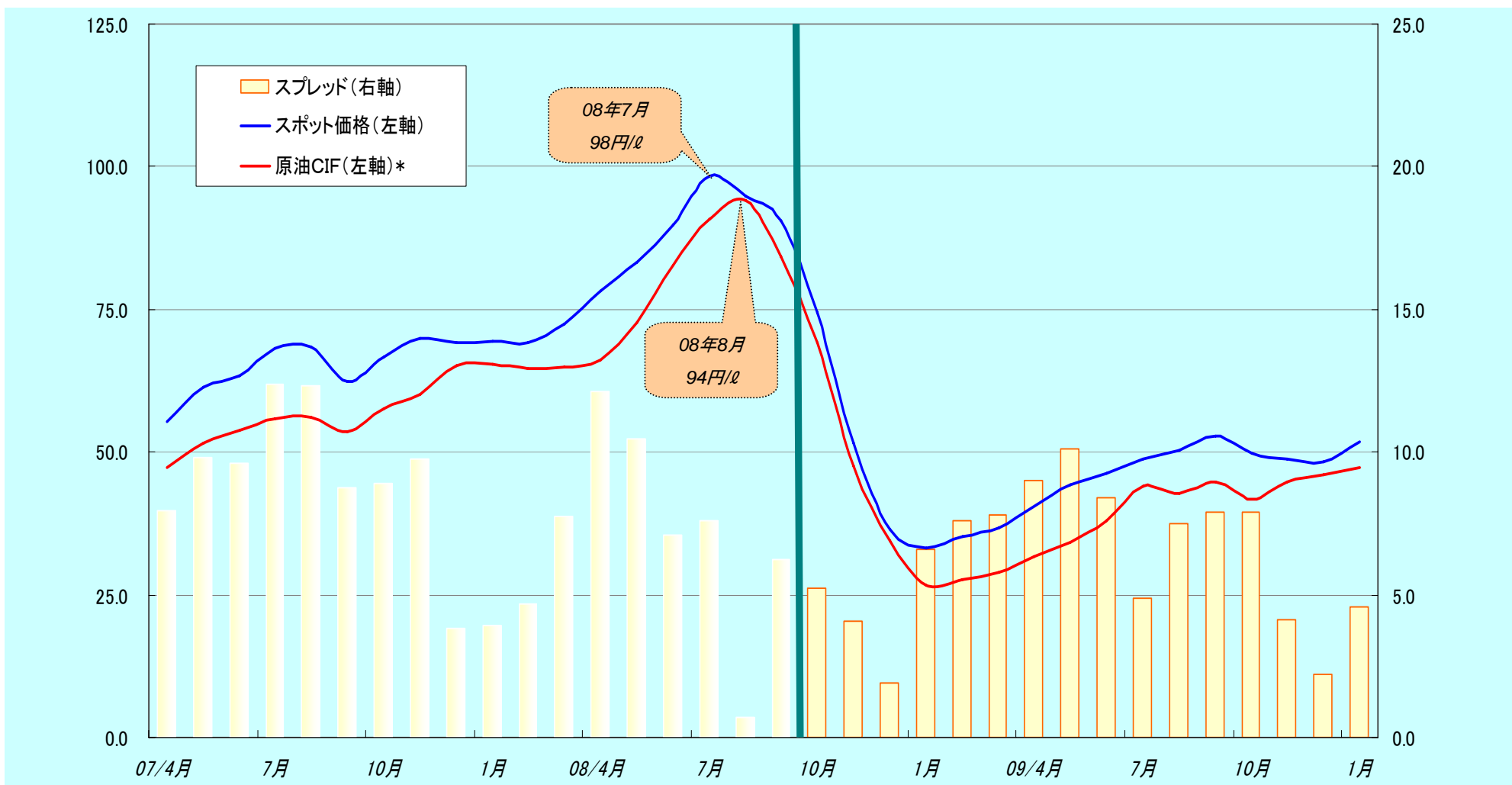
06/上期	06/下期	06/通期	07/1Q	07/2Q	07/上期	07/3Q	07/4Q	07/下期	07/通期	08/1Q	08/2Q	08/上期	08/3Q	08/4Q	08/下期	08/通期	09/1Q	09/2Q	09/上期	09/3Q
26.3	27.3	26.7	24.3	27.7	26.0	28.5	27.7	28.1	27.0	28.0	28.2	28.1	28.1	22.3	25.2	26.6	23.3	23.0	23.1	23.7



*1 ガソリン税、消費税抜き(出所:石油情報センター)
 *2 全国通関CIF《関税(～06年3月末)、石油税、金利含み》

<スプレッド（ガソリンスポット価格 - 原油CIF）の推移>

(円/ℓ) (円/ℓ)



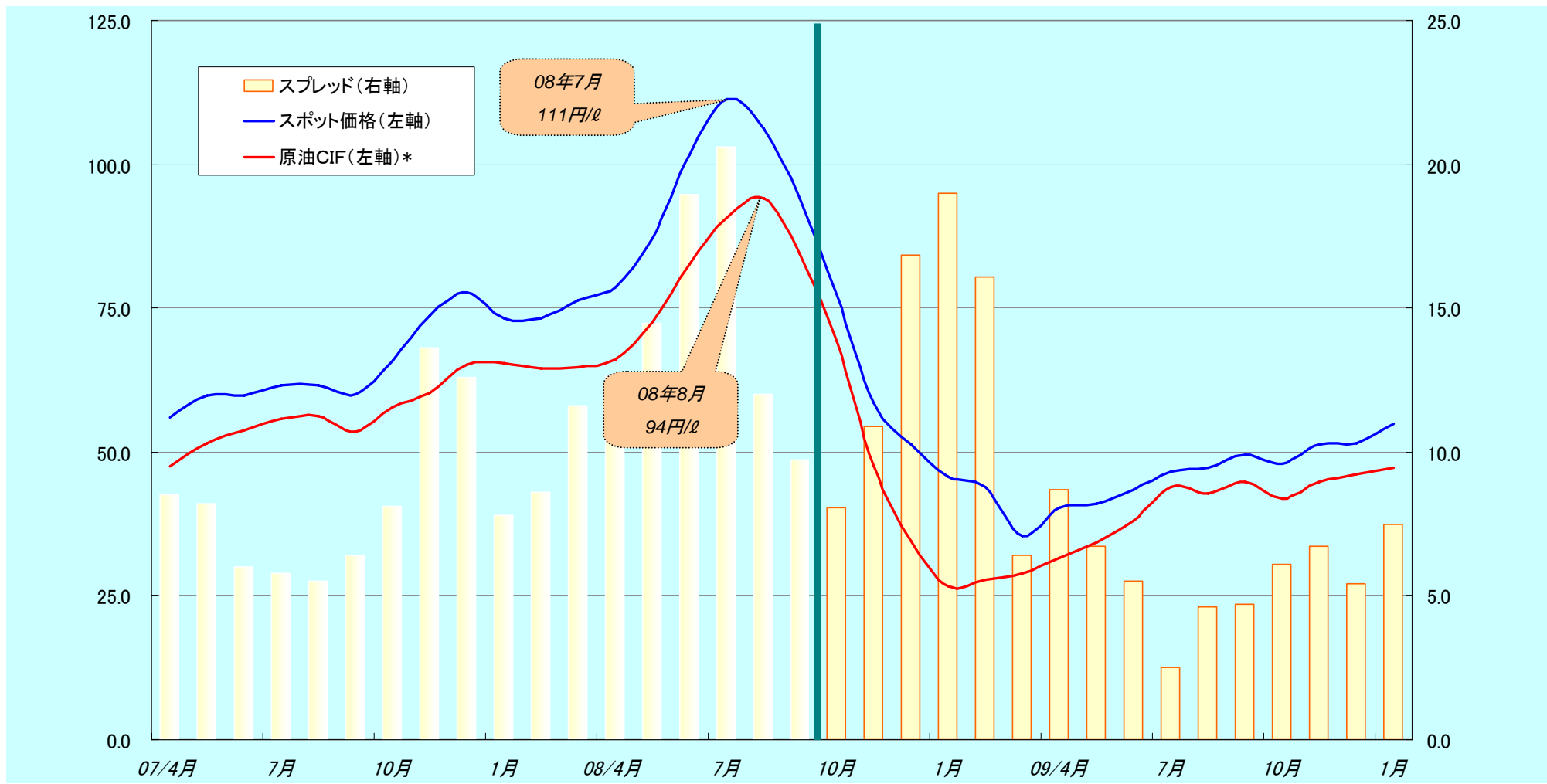
* 全国通関CIF(石油税、金利含み)

(実勢)

<スプレッド（灯油スポット価格 - 原油CIF）の推移>

(円/ℓ)

(円/ℓ)



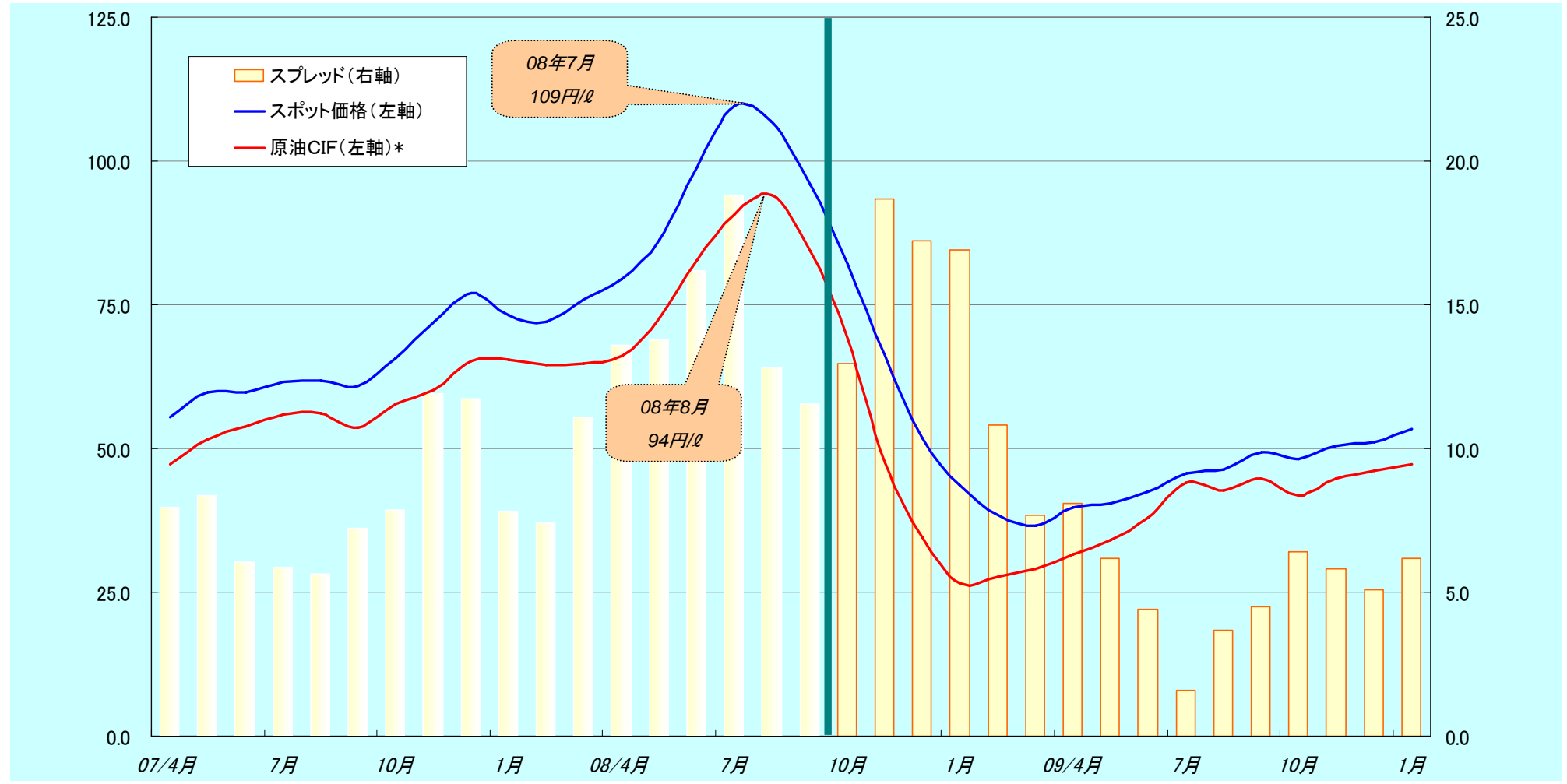
* 全国通関CIF (石油税、金利含み)

(実勢)

<スプレッド（軽油スポット価格 - 原油CIF）の推移>

(円/ℓ)

(円/ℓ)



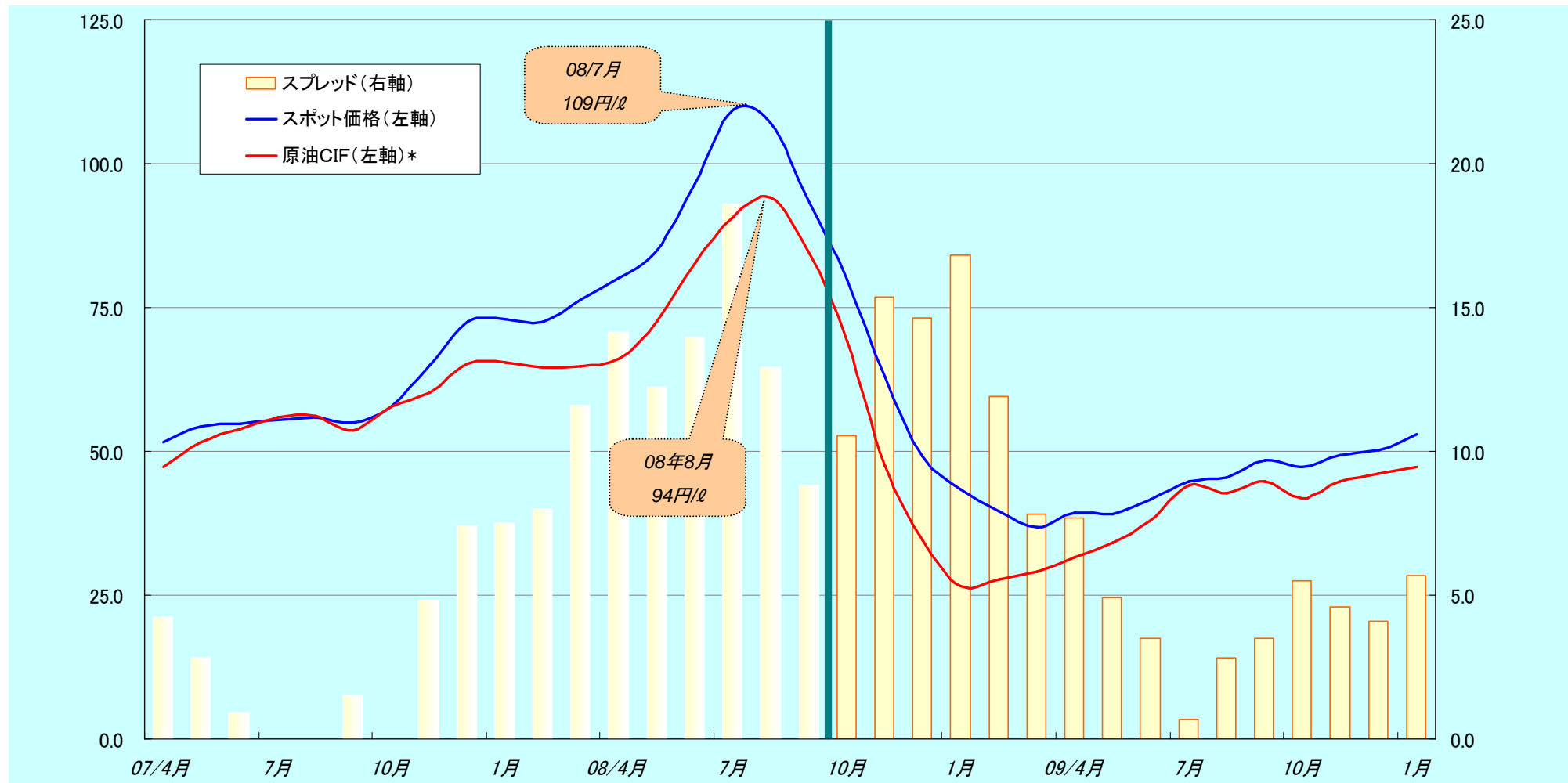
* 全国通関CIF (石油税、金利含み)

(実勢)

<スプレッド（A重油スポット価格 - 原油CIF）の推移>

(円/ℓ)

(円/ℓ)

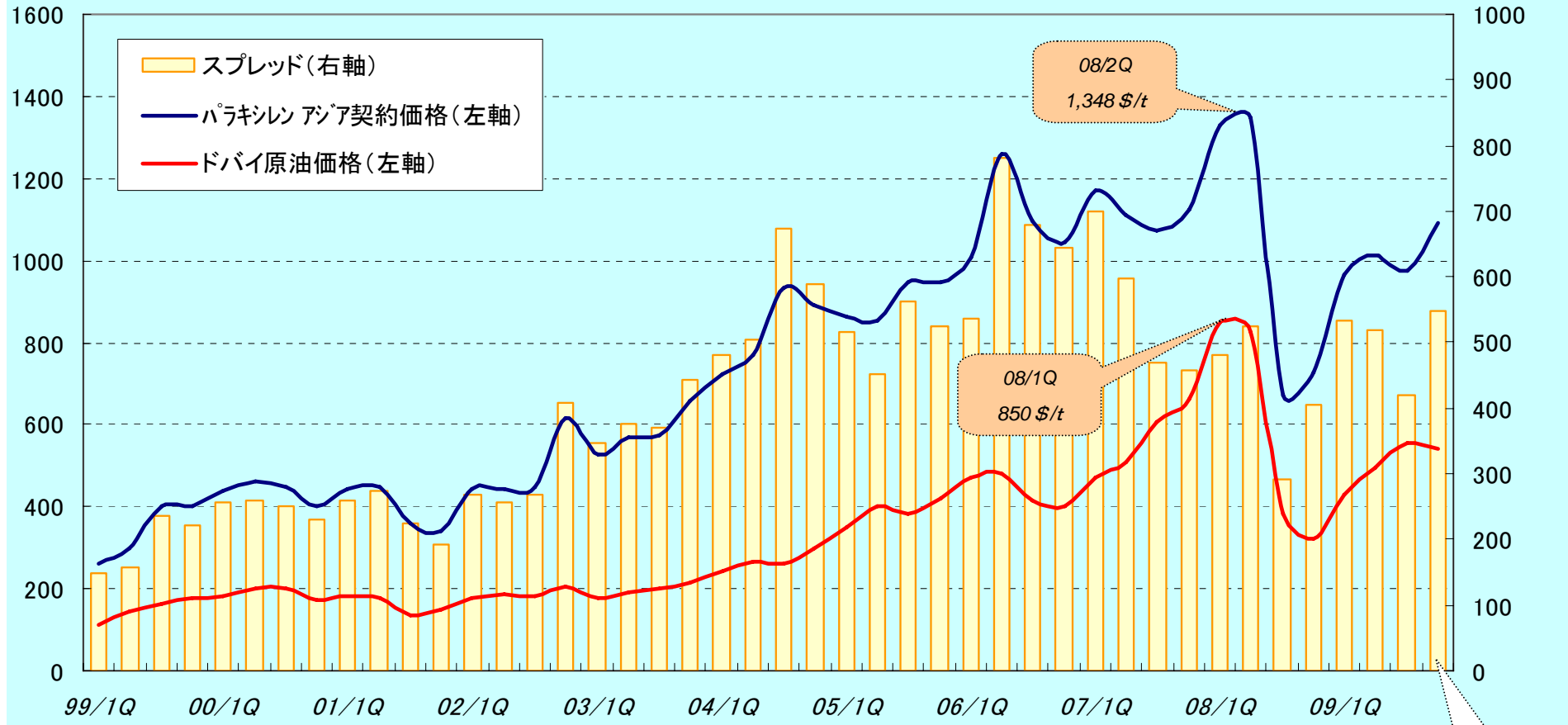


* 全国通関CIF (石油税、金利含み)

(実勢)

<スプレッド（パラキシレンACP – ドバイ原油）の推移>

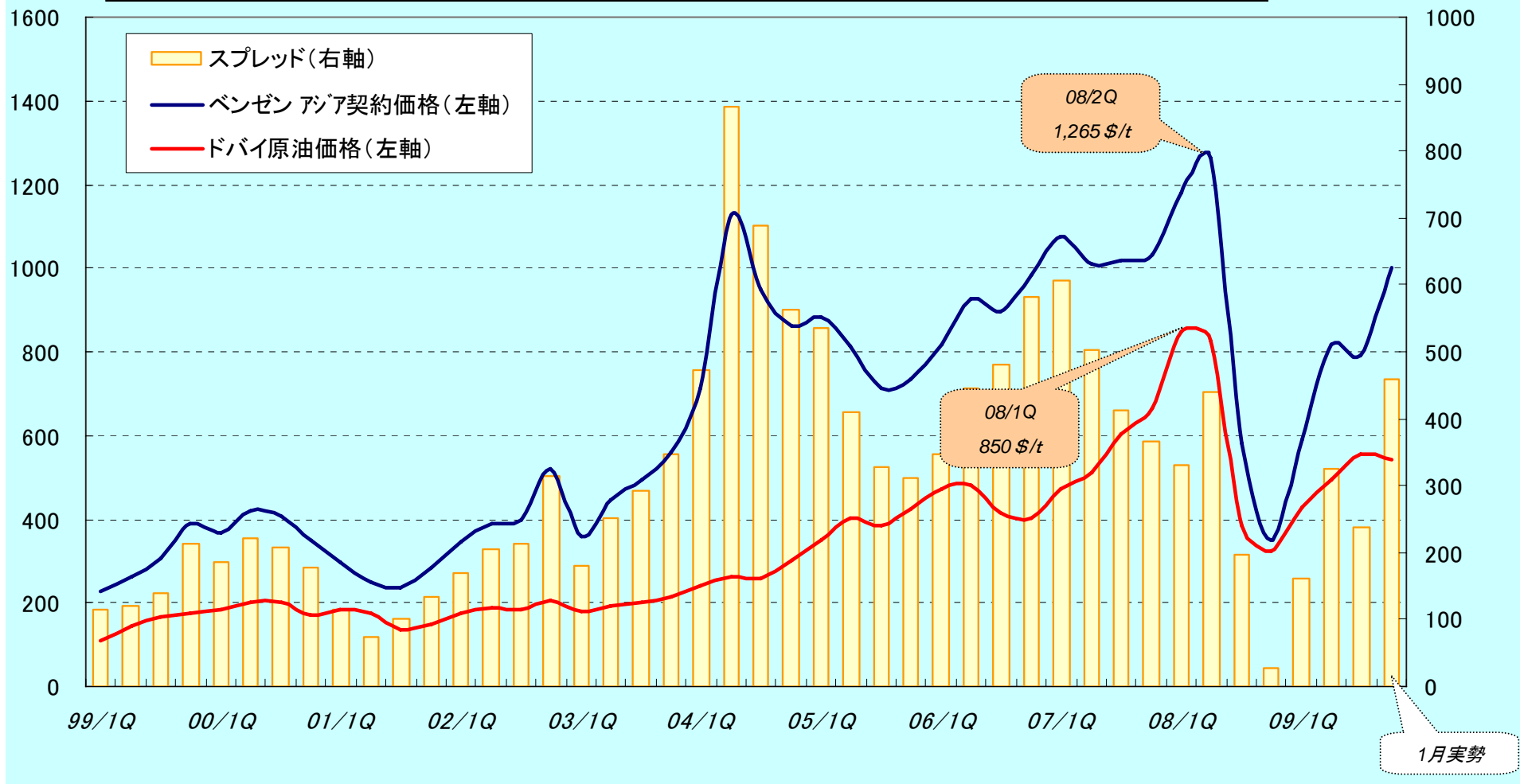
(\$/t)	平均価格	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年1Q	09年2Q	09年3Q	(\$/t)
	ACP	488	581	829	903	1,103	1,119	1,020	964	1,013	976	
	ドバイ原油	187	197	266	389	443	563	595	430	494	555	
	スプレッド	301	384	563	514	660	556	425	534	519	420	



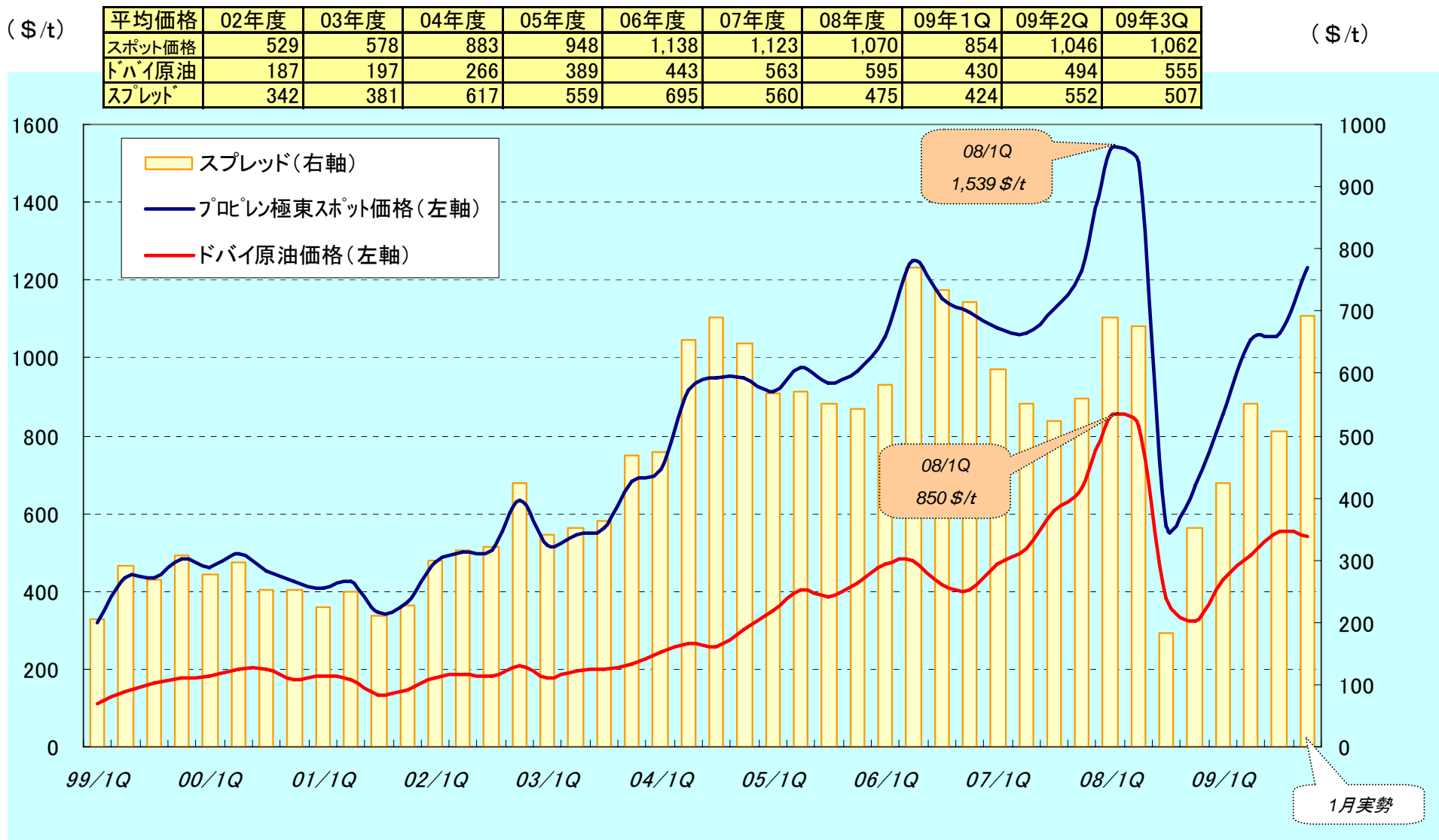
(注) 09年10月は、ACP未決着のため、スポット価格の平均値を採用

<スプレッド（ベンゼンACP - ドバイ原油）の推移>

(\$/t)	平均価格	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年1Q	09年2Q	09年3Q	(\$/t)
	ACP	414	464	914	786	907	1,034	844	590	818	793	
	ドバイ原油	187	197	266	389	443	563	595	430	494	555	
	スプレッド	227	267	648	397	464	471	249	160	324	238	



<スプレッド（プロピレンスポット価格 - ドバイ原油）の推移>



3. 石油関連事業

<精製能力およびトッパー稼働率の推移>

(単位:百万BD)

合併		99年度	00年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
新日石グループ ^{*1}		1.35 (74%)	1.35 (76%)	1.23 (81%)	1.22 (84%)	1.27 (83%)	1.22 ^{*3} (87%)	1.22 (88%)
全 国		5.35 (77%)	5.27 (79%)	4.97 (81%)	4.98 (81%)	4.89 ^{*2} (83%)	4.77 ^{*3} (84%)	4.77 (87%)
		06年度	07年度	08年度		09年度		
		年度	年度	上期	下期	年度	上期	10-12月
		1.22 (84%)	1.22 (84%)	1.22 (79%)	1.32 ^{*6} (78%)	1.32 ^{*6} (78%)	1.32 (72%)	1.32 (75%)
		4.83 ^{*4} (83%)	4.89 ^{*5} (83%)	4.89 (78%)	4.84 ^{*7} (79%)	4.84 ^{*7} (79%)	4.87 ^{*8} (72%)	4.87 —

- 注: 1. 精製能力は各年度末における数値、括弧内のトッパー稼働率数値は各年度における平均値。
 2. 原油処理停止(出光興産兵庫製油所:03年4月、出光興産グループ沖縄石油精製:03年11月)
 3. 原油処理停止(出光興産グループ東邦石油:2004年4月)、原油処理の一部停止(新日本石油根岸製油所:04年4月、昭和シェル石油グループ昭和四日市石油:04年6月)
 4. 原油処理能力増(コスモ石油四日市・坂出06年12月、JEグループ鹿島石油06年6・10月)
 5. 原油処理能力増(九州石油07年6月、JEグループ鹿島石油 07年11月)
 6. 大分製油所を含む(08年10月)
 7. 富山製油所の原油処理停止(09年1月末)
 8. 原油処理能力増(JEグループ水島09年8月) (出所:経済産業省、石油連盟ほか)

<販売シェア（白油4品・消費ベース）>

単位(%)

油種	合併										
	99年度	00年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度 4-12月
揮発油	23.2	22.9	22.8	23.2	23.3	23.9	23.6	23.2	23.1	23.3	24.7
(ハイオク)	23.4	23.2	24.1	24.6	24.6	25.4	26.2	25.2	25.0	25.0	-
灯油	23.4	23.3	23.9	24.4	24.3	27.6	27.7	26.3	27.0	27.1	31.8
軽油	22.8	22.4	22.0	22.7	22.6	23.0	23.2	22.9	23.6	23.8	25.7
A重油	23.4	23.9	24.3	26.3	28.1	30.4	29.1	29.4	29.6	28.3	31.2
4品計	23.2	23.0	23.1	23.9	24.2	25.5	25.3	24.6	24.8	24.7	26.7

注：08年度上期は新日石のみ(九石を含まず)

<固定式SS数>

	合 併											99年度
	99年度末	00年度末	01年度末	02年度末	03年度末	04年度末	05年度末	06年度末	07年度末	08年度末	09年12月末	09年度
新日本石油	13,162	12,669	11,987	11,694	11,333	11,059	10,807	10,368	9,919	9,974	9,624	73.1%
E M G K *1	8,101	7,898	7,597	7,278	6,904	6,701	6,464	6,044	5,635	5,064	4,848	59.8%
出光興産	6,493	6,114	5,896	5,624	5,508	5,358	5,249	5,059	4,913	4,598	4,460 ^{*4}	68.7%
昭和シェル	5,962	5,642	5,402	5,153	4,968	4,808	4,689	4,560	4,481	4,256	4,143	69.5%
コスモ	5,916	5,600	5,373	5,152	4,926	4,709	4,552	4,359	4,188	3,913	3,827	64.7%
Jエナジー	4,952	4,646	4,476	4,296	4,150	4,023	3,833	3,708	3,608	3,344	3,239	65.4%
その他元売 *2	2,128	1,916	1,733	1,642	1,593	1,500	1,439	1,388	1,383	687	688	32.3%
元 売 計	46,714 (87.6%)	44,485 (85.6%)	42,464 (83.4%)	40,839 (82.3%)	39,382 (80.4%)	38,158 (79.5%)	37,033 (78.8%)	35,486 (78.9%)	34,127 (79.4%)	31,836 (77.1%)	30,829 ^{*4} (-)	66.0%
P B ほか	6,593 (12.4%)	7,472 (14.4%)	8,436 ^{*3} (16.6%)	8,761 ^{*3} (17.7%)	9,618 ^{*3} (19.6%)	9,842 ^{*3} (20.5%)	9,967 ^{*3} (21.2%)	9,514 ^{*3} (21.1%)	8,873 ^{*3} (20.6%)	9,464 ^{*3} (22.9%)	-	-
合 計	53,307	51,957	50,900 ^{*3}	49,600 ^{*3}	49,000 ^{*3}	48,000 ^{*3}	47,000 ^{*3}	45,000 ^{*3}	43,000 ^{*3}	41,300 ^{*3}	-	-

注: 1. エッソ、モービル、ゼネラル、キグナスの合算

4. 出光興産のみ09年9月末実績

2. (07年度まで)九石、太陽、三井の3社合計、(08年度以降)太陽・三井の2社合計

3. 当社推定

(出所:燃料油脂新聞、石油情報センターほか)

<社有SS数、セルフSS数、Dr. Drive数>

<社有SS数>

	合 併										
	99年度末	00年度末	01年度末	02年度末	03年度末	04年度末	05年度末	06年度末	07年度末	08年度末	09年12月末
新日本石油	3,053	2,945	2,857	2,746	2,607	2,518	2,436	2,309	2,175	2,081	1,934

<セルフSS数>

	合 併										
	99年度末	00年度末	01年度末	02年度末	03年度末	04年度末	05年度末	06年度末	07年度末	08年度末	09年12月末
新日本石油	21	54	142	342	520	651	794	1,055	1,230	1,517	1,609
全 国 *1	191	422	1,353	2,522	3,423	3,493	4,257	5,203	6,009	6,565	—

注 1. 元売系列のセルフSSのみ

(出所: 石油情報センター、燃料油脂新聞)

<Dr. Drive数>

	合 併										
	99年度末	00年度末	01年度末	02年度末	03年度末	04年度末	05年度末	06年度末	07年度末	08年度末	09年12月末
新日本石油	44	390	1,283	1,610	1,871	1,963	2,505	2,403	2,287	2,130	2,095

<油槽所数、従業員数>

<油槽所数>

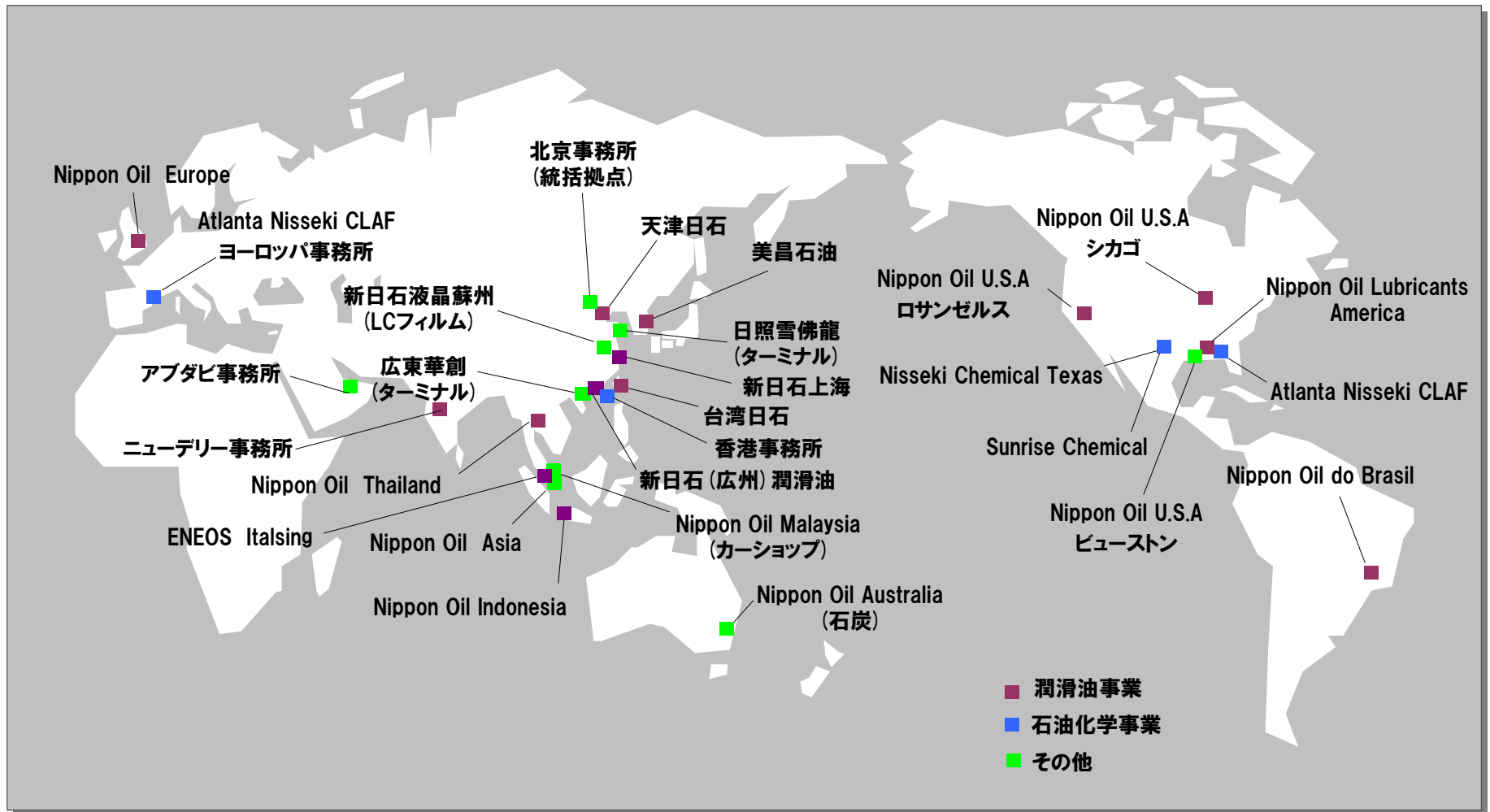
	合 併					
	99年4月	00年4月	01年4月	02年4月	03年4月	04年4月
新日本石油	109	93	75	62	55	51
	05年4月	06年4月	07年4月	08年4月	09年4月	10年1月
	50	50	48	46	48	46

<従業員数>

	合 併					
	99年3月末	00年3月末	01年3月末	02年3月末	03年3月末	04年3月末
新日本石油グループ	15,964	15,570	14,895	14,368	13,882	14,347*2
(うち新日石・新日精)	(5,163)	(4,602)	(4,290)	(4,108)	(4,990)*1	(4,920)
	05年3月末	06年3月末	07年3月末	08年3月末	09年3月末	09年12月末
	13,424	13,628	13,214 *4	12,697 *6	14,144 *7	13,692
	(4,437)	(4,705)*3	(4,907)*5	(4,894)	(6,005)*8	(6,077)

- 注:
1. 旧日石三菱精製、旧東北石油、旧興亜石油の合併(02/4)により、人員数増加。
 2. 大日本土木の新規連結により、人員数増加。
 3. 新日本石油ガスとの合併により、人員数増加。
 4. イドムココミュニケーションズを連結除外したため、人員数減少。
 5. 新日本石油化学の本社部門統合、新規採用増等により人員数増加。
 6. 販売子会社(石油・精製販売部門)の再編に伴うグループ外への転籍による人員数減少。
 7. ENEOSフロンティア傘下の持分法適用会社14社を新規連結(08/4)、九州石油との統合による人員数増加(08/10)。
 8. 新日本石油精製が新日本石油化学を吸収合併したことによる人員数増加(08/4)、九州石油との統合による人員増加(08/10)。

主な海外拠点



<当社グループ製油所一覧 >

全日本の石油精製能力(09年12月末時点)

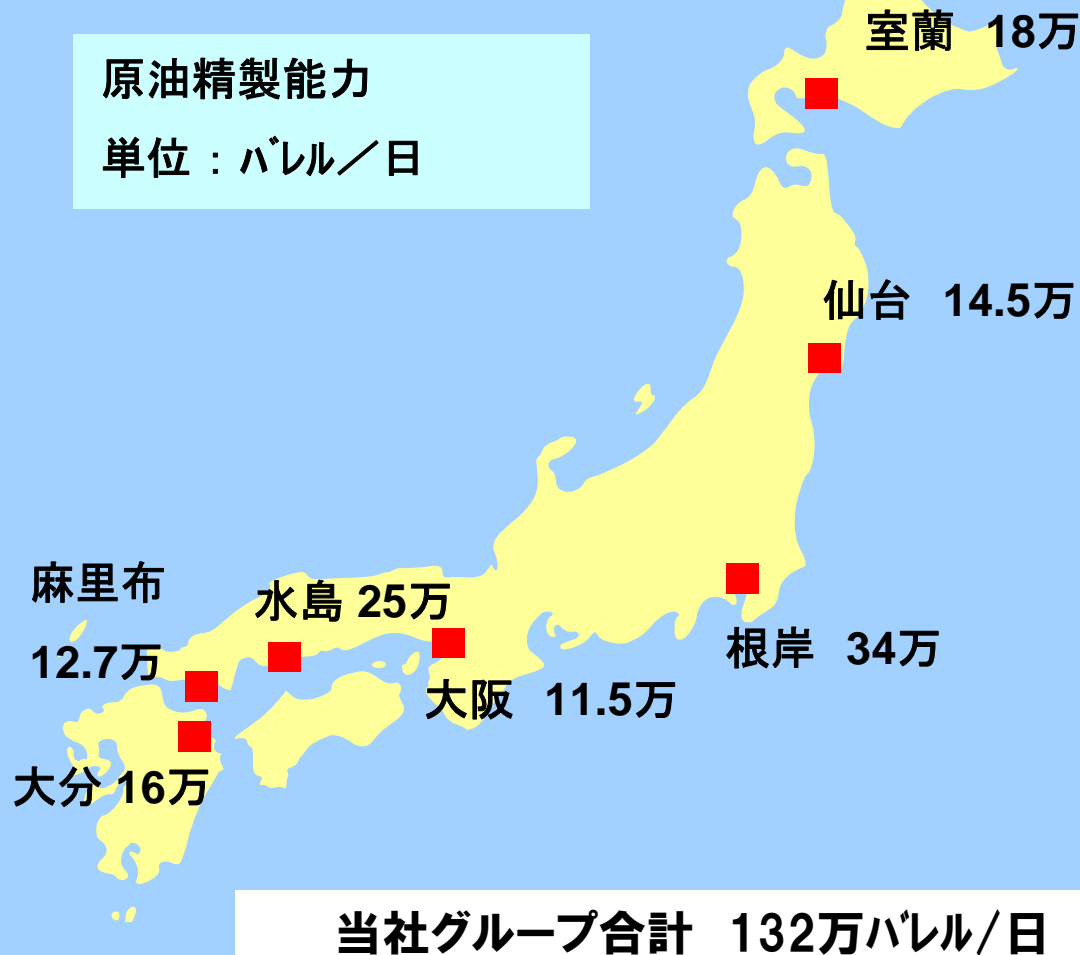
元売グループベース	製油所数	能力(万バレル)	精製シェア
新日石グループ	7	132	27.0%
ジャパンエナジー	2	51	10.5%
東燃ゼネラル	4	84	
出光興産	4	64	
コスモ石油	4	64	
昭和シェル石油	3	52	
その他	4	42	
合計	28	487	

(出所 石油連盟 他)

当社グループ製油所一覧

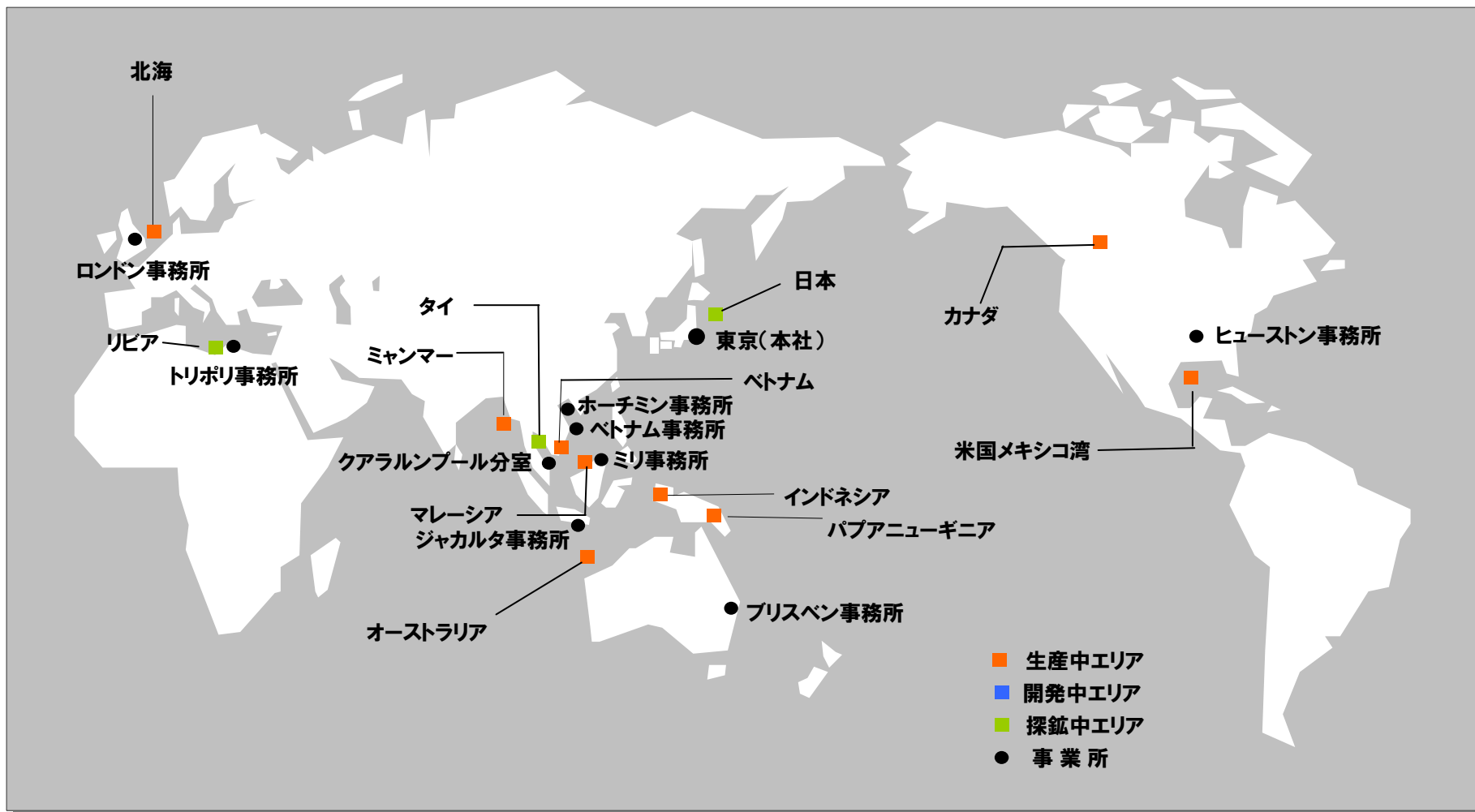
原油精製能力

単位：バレル/日



4. 石油・天然ガス開発 プロジェクト関連

<主な石油・天然ガス開発プロジェクト拠点>



<主な石油・天然ガス開発プロジェクトの概要> (2009年1-9月(平均) ※一部速報値を含む)

プロジェクト地域/会社	総生産量 (千BOED)	ネット生産量 (千BOED)		ネット埋蔵量*1 (百万BOE) PCベース
		PCベース	出資ベース	
[米国メキシコ湾] NOEX USA	39	11	11	48
[英国北海] NOEP UK	192	13	13	27
[ベトナム] 日本ベトナム石油	37	14	14	<東南アジア計> 309
[ミャンマー] 日石ミャンマー	74	9	4	
[マレーシア] 日石マレーシア	55	24	19	
日石サラワク	179	37	29	
[インドネシア] 日石ベラウ	7	0	0	
[パプアニューギニア] 日本パプアニューギニア石油	37	7	6	<大洋州計> 16
[オーストラリア] NOEX Australia Pty Ltd.	8	2	2	
[カナダ] 日本カナダ石油	264	13	13	268
合 計	891	130	110	669

*:2008年12月時点の確認埋蔵量および推定埋蔵量(現在開発中のプロジェクトの埋蔵量を含む)

<当社の埋蔵量評価基準について>

当社の埋蔵量評価は、「SPE新基準」に準拠しております。

SPE新基準とは、SPE（Society of Petroleum Engineers、石油技術者協会）、WPC（World Petroleum Congress、世界石油会議）、AAPG（American Association of Petroleum Geologist、米国石油地質家協会）およびSPEE（Society of Petroleum Evaluation Engineers、石油評価技術協会）の4組織が策定し、2007年3月に公表された資源量および埋蔵量に関する基準のことです。

SPE新基準は、現状の技術革新や経済的背景に合致した世界基準を目指し、各石油会社や世界各国における埋蔵量の定義、分類に関する調査や外部からの意見聴取を行い、多くの会社からの意見を反映したものとなっています。

埋蔵量は、その確からしさの順に、確認・推定・予想埋蔵量に区分されます。当社の報告埋蔵量は、同業他社の動向に鑑み、SPE新基準において定義されている埋蔵量(Reserves)のうち、確認および推定埋蔵量の合計値<次頁参照>を採用しております。

< 確認埋蔵量および推定埋蔵量の定義 >

確認埋蔵量の定義:

既発見貯留層から当社が想定する経済条件、操業方法、法規制等のもと、地球科学的および生産・油層工学的データの分析により高い確度をもって商業回収可能と合理的に評価される石油・天然ガス量のことを指す。

確率的には、実際の回収量がその評価値以上になることが、90%以上あるとされている。

推定埋蔵量の定義:

確認埋蔵量と同様に評価されるものの、回収可能性が確認埋蔵量より低く、予想埋蔵量より高いと評価される追加石油・天然ガス埋蔵量のことを指す。

確率的には、実際の回収量が確認および推定埋蔵量の評価合計値以上になることが、50%以上あるとされている。

<個別プロジェクトの概要>

米国メキシコ湾



【09年1-9月生産数量】 11,100 boed

(油 3,600 b/d、ガス 45 mmcf/d)

【プロジェクト会社】 ()内 当社グループの出資比率
Nippon Oil Exploration U.S.A. Ltd. (100%)

【権益比率】 6.1%-100%

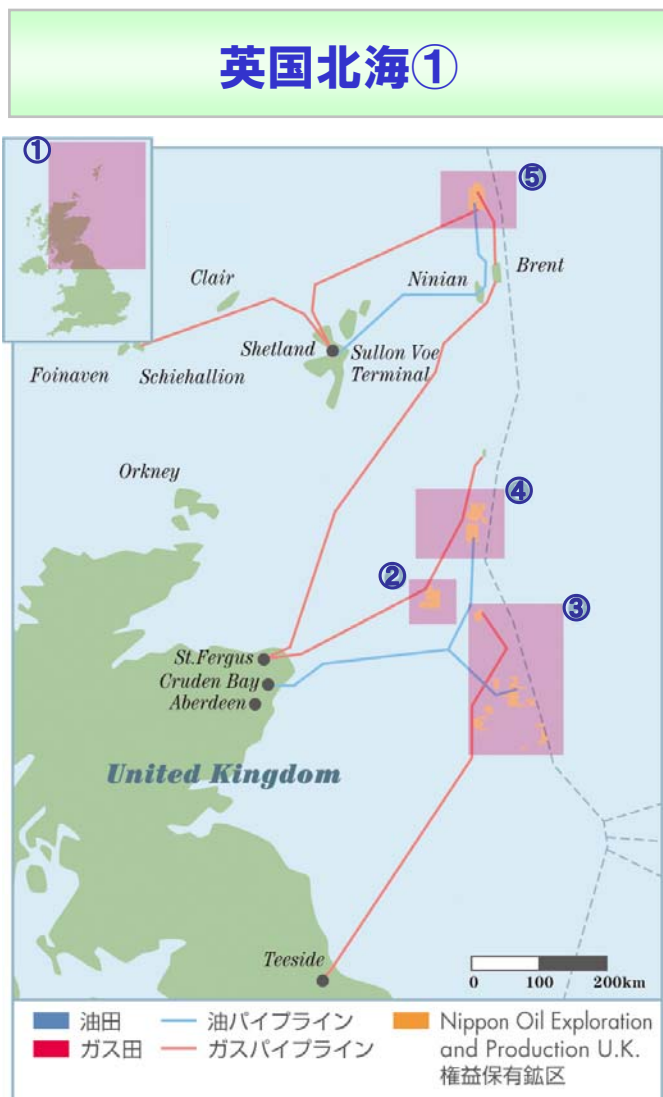
【オペレーター】

Nippon Oil Exploration U.S.A. Ltd.、
アナダルコ、ココフィリップス 他

・1990年以降、テキサス州陸上鉱区、米国メキシコ湾大陸棚域および深海域において探鉱・開発・生産事業を展開。

・オーチャードノース・ガス田、アコンカグア・ガス田、バーゴ・ガス田に加え、2005年デボン社より2007年にはアナダルコ社よりメキシコ湾の権益を取得。

<個別プロジェクトの概要>



【09年1-9月生産数量】 12,800boed
 (油 8,400b/d、ガス 27mmcf/d)

【プロジェクト会社】 ()内 当社グループの出資比率
 ・Nippon Oil Exploration and Production U.K. Ltd. (100%)

【権益比率】 2.1%-45%

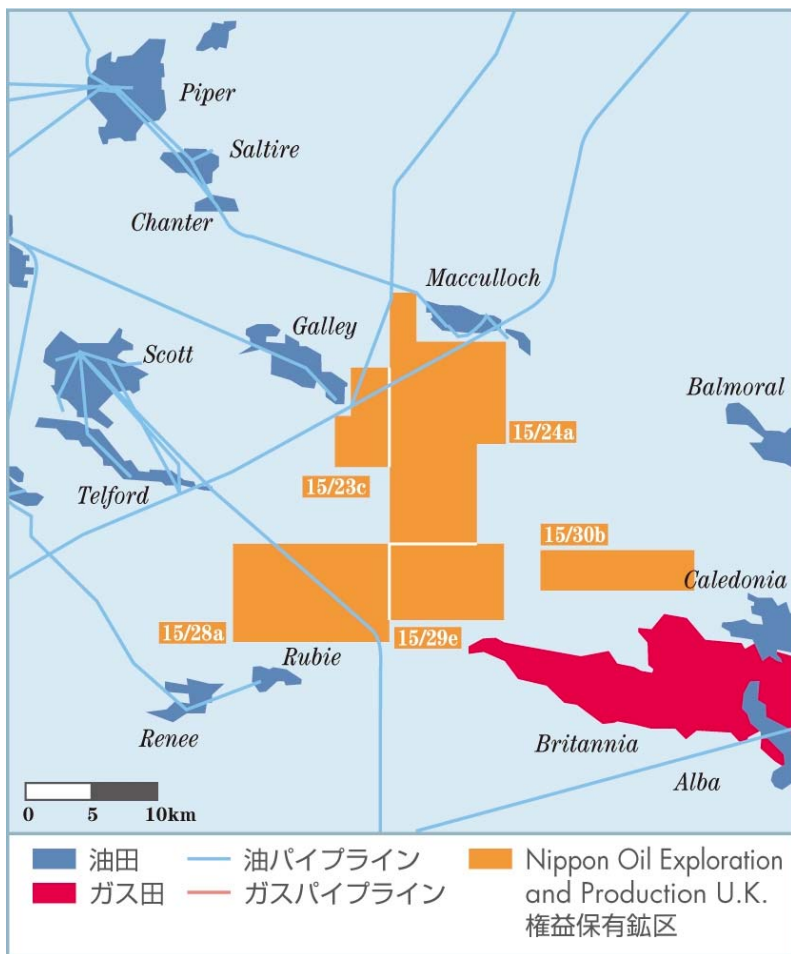
【オペレーター】

Nippon Oil Exploration and Production U.K. Ltd.、BP、シェル、マラソン 他

・ 1994年 アンドリュー、ムゴ/モナン、ピアス、ミレン/マドース及びブレイン油田等、1996年マグナス油田、2002年ブレイガス田、フィディックガス田、2004年ウェストン油田の権益を取得。現在、探鉱・開発・生産事業を展開中。

<個別プロジェクトの概要>

英国北海② <当社オペレーターエリア>



当社オペレーター鉱区

英国政府が実施した公開入札で、2007年と2009年にNippon Oil Exploration and Production U.K. Ltd. がオペレーターとして、それぞれ4鉱区と1鉱区の新規探鉱鉱区を取得。

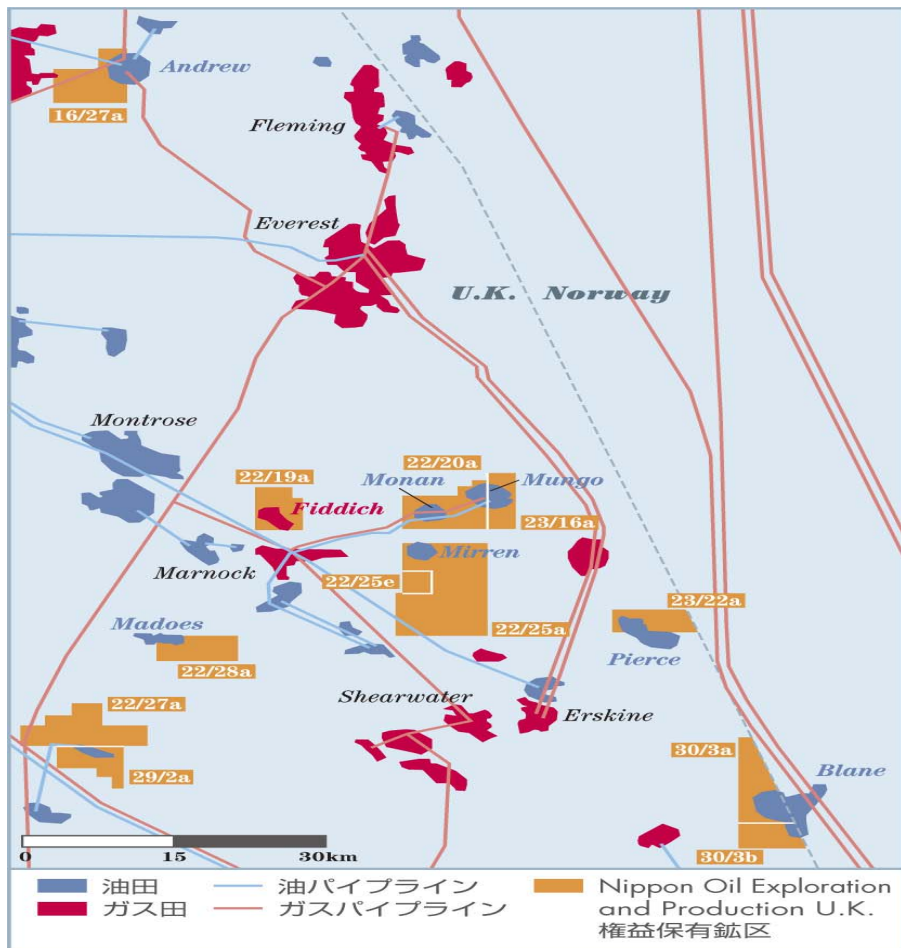
【権益比率】 33.3%-45%

2007年取得鉱区: 15/23c、15/24a、15/28a、15/29e

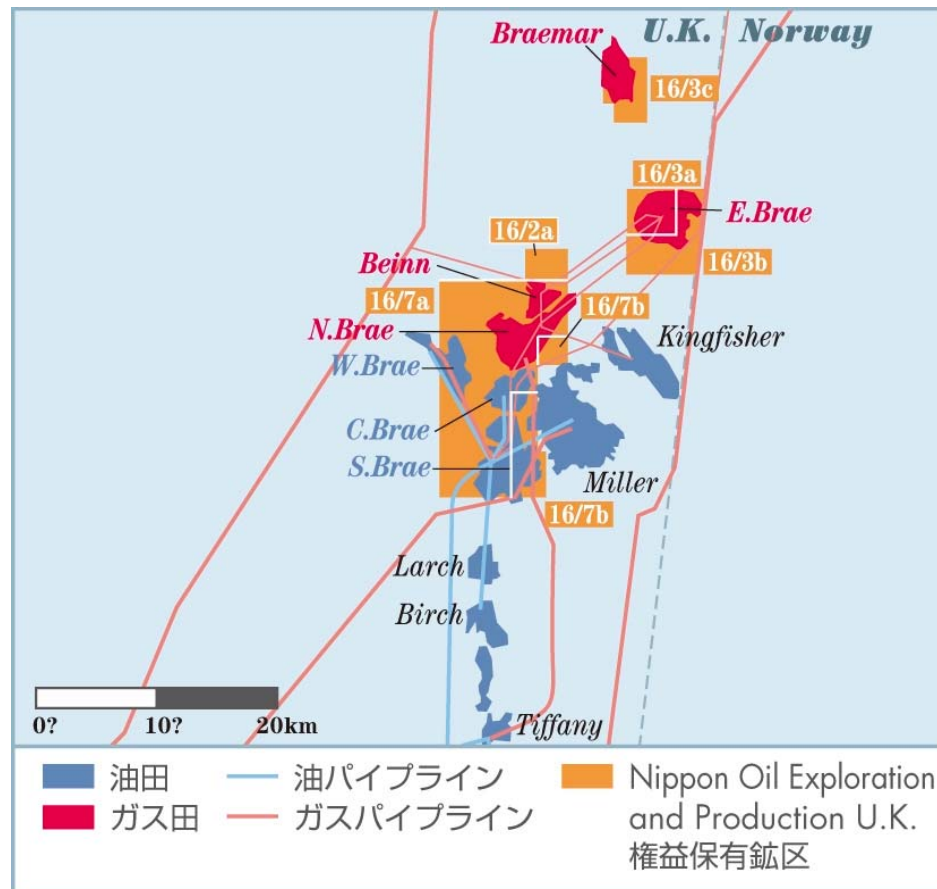
2009年取得鉱区: 15/30b

<個別プロジェクトの概要>

英国北海③

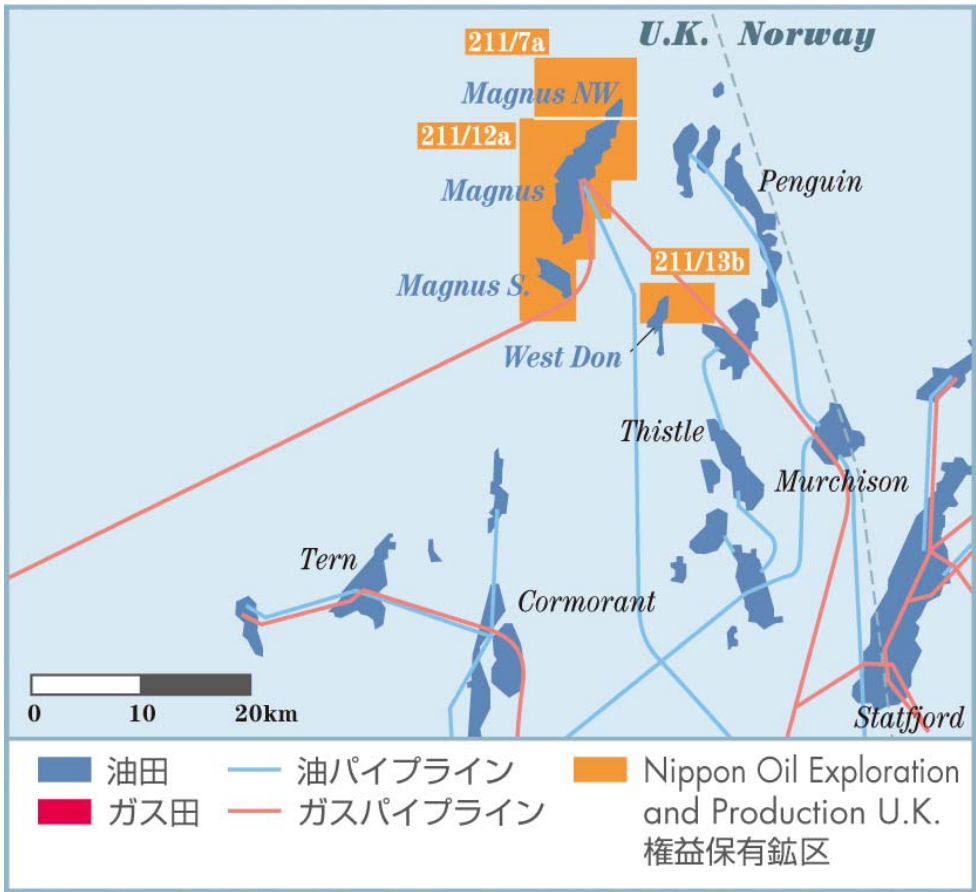


英国北海④



<個別プロジェクトの概要>

英国北海⑤



<個別プロジェクトの概要>

ベトナム



【09年1-9月生産数量】 14,000boed
(油 10,200b/d、ガス 23mmcf/d)

【プロジェクト会社】 ()内 当社グループの出資比率
日本ベトナム石油(株) (97.1%)

【権益比率】 ランドン : 46.5%
フンドン : 64.5%

【オペレーター】
日本ベトナム石油(株)

- ・1992年 15-2鉱区権益取得。
- ・1994年にランドン油田を発見し1998年より生産開始。
- ・2006年に、ランドン油田随伴ガス回収・有効利用プロジェクトが、CDMとして承認された。
- ・2007年11月ペトロベトナムとベトナム南部海上16-2鉱区に関する生産分与契約を締結
- ・2008年2月に、ランドンCDMにつき、国連より排出権発行。
- ・2008年7月、ランドン油田の累計生産量1億5,000万バレルを達成。
- ・2008年8月より、フンドン油田生産開始。

<個別プロジェクトの概要>

ミャンマー



【09年1-9月生産数量】 8,600boed
(油 800b/d、ガス 47 mmcf/d)

【プロジェクト会社】 ()内 当社グループの出資比率
日石ミャンマー石油開発(株)(50%)

【権益比率】 19.3%

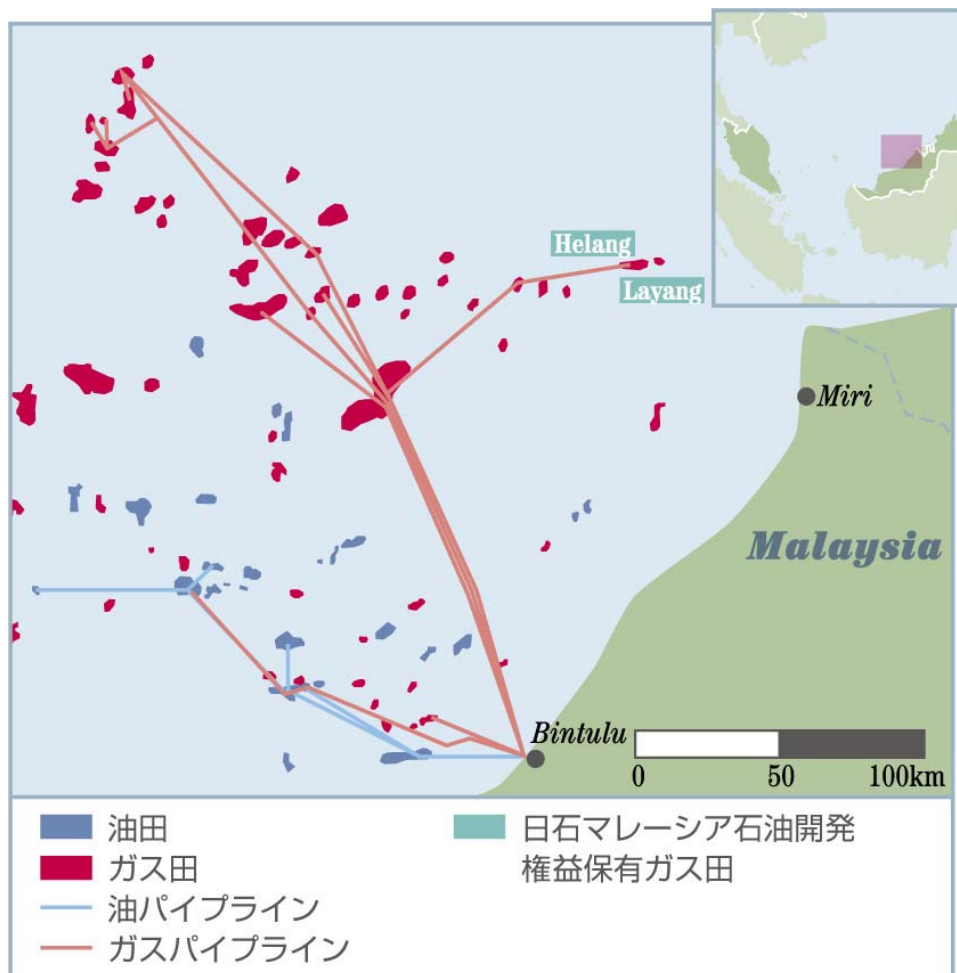
【オペレーター】 ペトロナス・チャリガリ

・1991年 ミャンマー海上M-13/14鉱区権益を取得。
翌年M-12鉱区権益を取得、同年イェタゴン・ガス
田を発見。

・2000年 タイのラチャブuri発電所向けに天然ガスの
生産を開始。

<個別プロジェクトの概要>

マレーシア



【09年1-9月生産数量】 24,000boed
(油 3,800b/d、ガス 121mmcf/d)

【プロジェクト会社】 ()内 当社グループの出資比率
日石マレーシア石油開発(株)(78.7%)

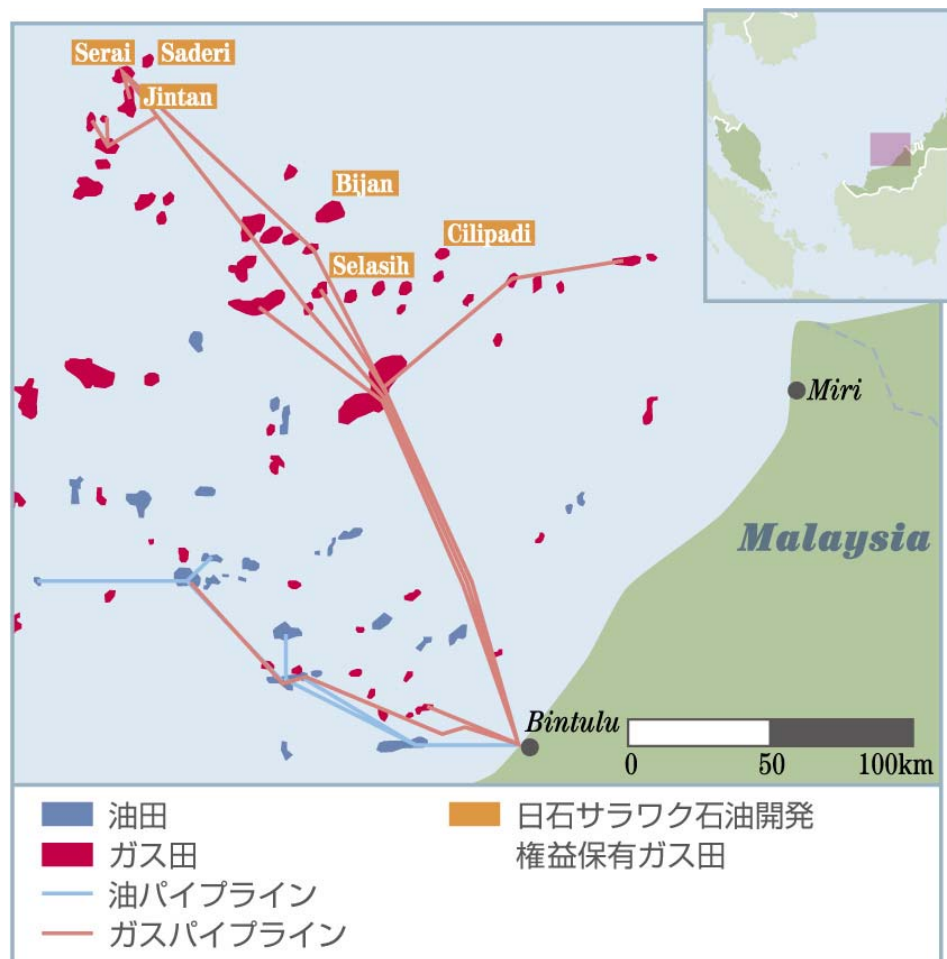
【権益比率】 75%

【オペレーター】
日石マレーシア石油開発(株)

- ・1987年 サラワク州沖SK-10鉱区の権益を取得。
- ・1990年にヘラン・ガス田を発見し、2003年より生産開始。

<個別プロジェクトの概要>

サラワク



【09年1-9月生産数量】 37,300boed
(油 3,500b/d、ガス 202mmcf/d)

【プロジェクト会社】()内 当社グループの出資比率
日石サラワク石油開発(株)(76.5%)

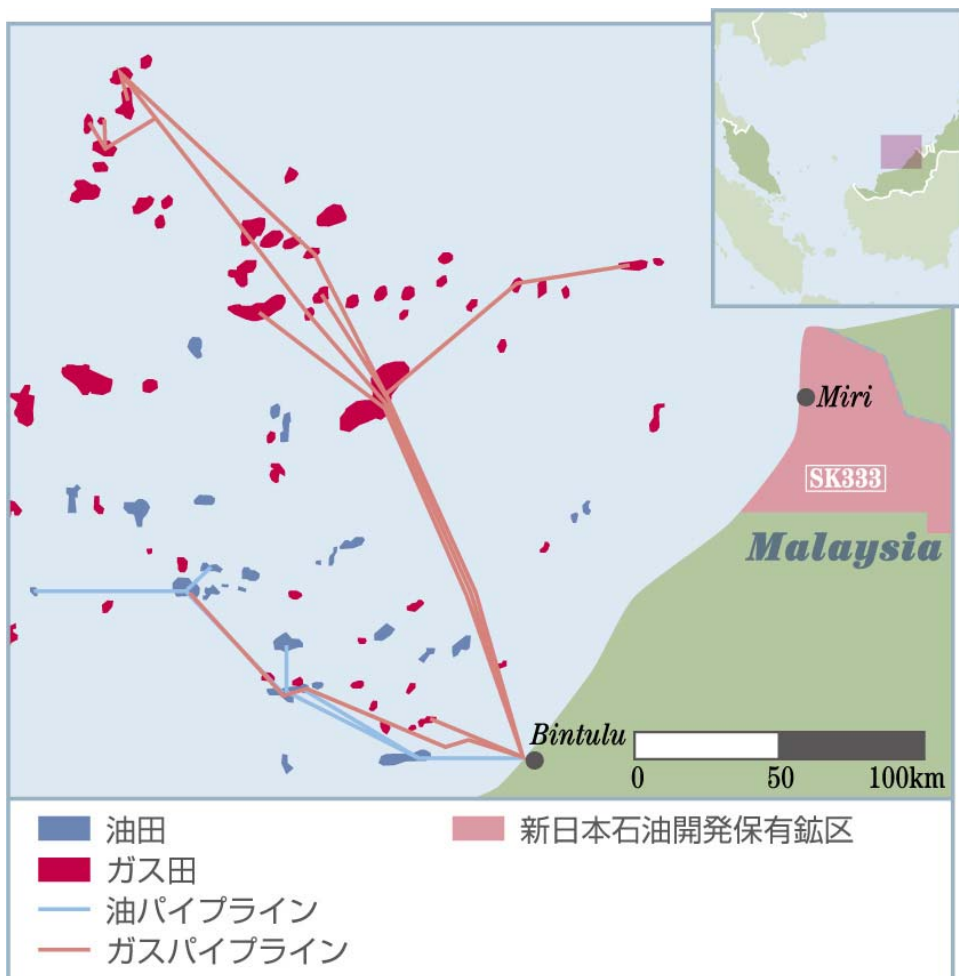
【権益比率】 37.5%

【オペレーター】 シェル

- ・ 1991年 SK-8鉱区権益を取得。
- ・ 1992年から1994年にかけて、ジントゥン・ガス田、セライ・ガス田を発見し、2004年より生産開始。
- ・ 2008年 サデリ・ガス田が生産開始。

<個別プロジェクトの概要>

サラワク陸上



【09年1-9月生産数量】 -

【プロジェクト会社】
新日本石油開発(株)

【権益比率】 75%

【オペレーター】 新日本石油開発(株)

- ・ 2007年12月にマレーシア・サラワク州陸上のSK333鉱区を取得。マレーシア国営石油会社ペトロナスと生産分与契約を締結。

<個別プロジェクトの概要>

マレー半島沖海上



【09年1-9月生産数量】 -

【プロジェクト会社】
新日石開発・半島マレーシア株式会社

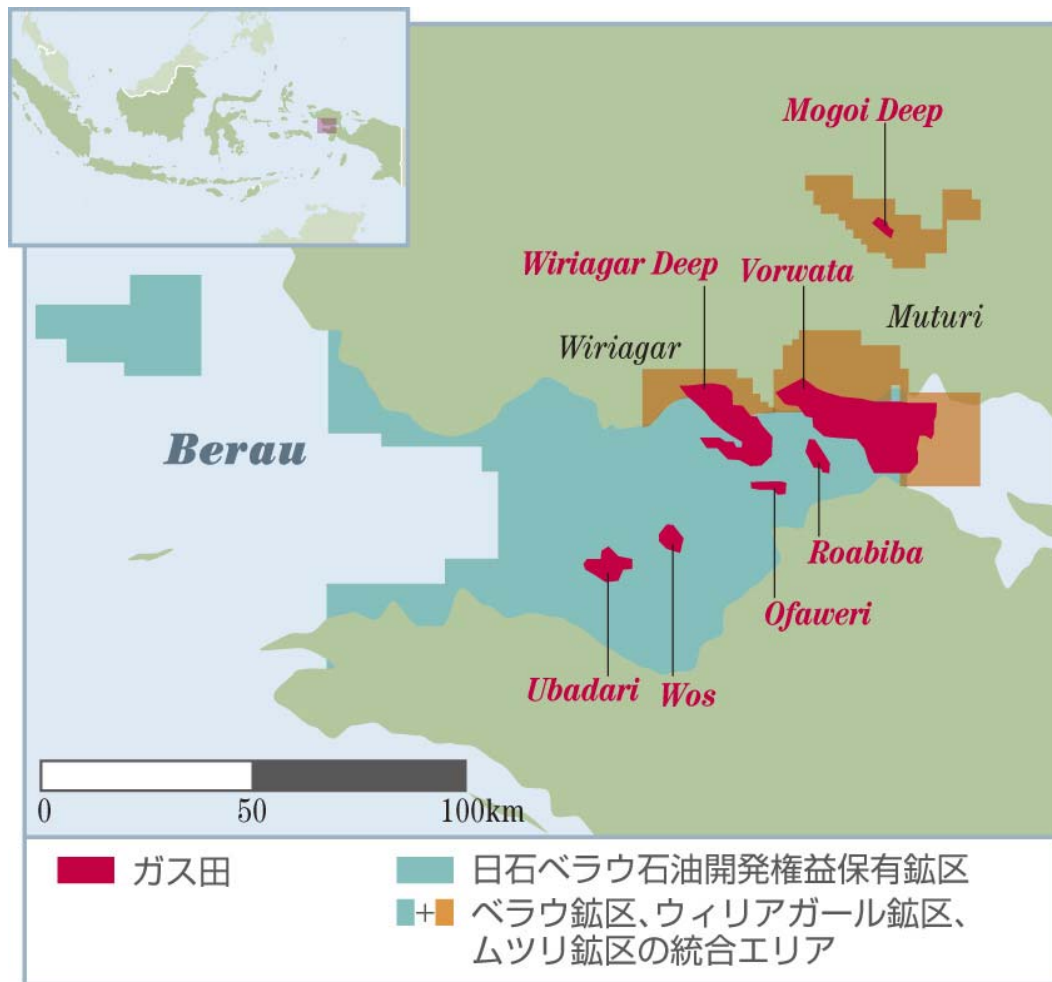
【権益比率】 20%

【オペレーター】 Lundin Malaysia B.V.

- ・ 2008年4月にマレーシア・マレー半島沖海上のPM308A鉱区を取得。マレーシア国営石油会社ペトロナスと生産分与契約を締結。

<個別プロジェクトの概要>

インドネシア



【09年1-9月生産数量】 100 boed
(油 100b/d 、ガス 0)

【プロジェクト会社】()内 当社グループの出資比率

日石ベラウ石油開発(株)(51%)

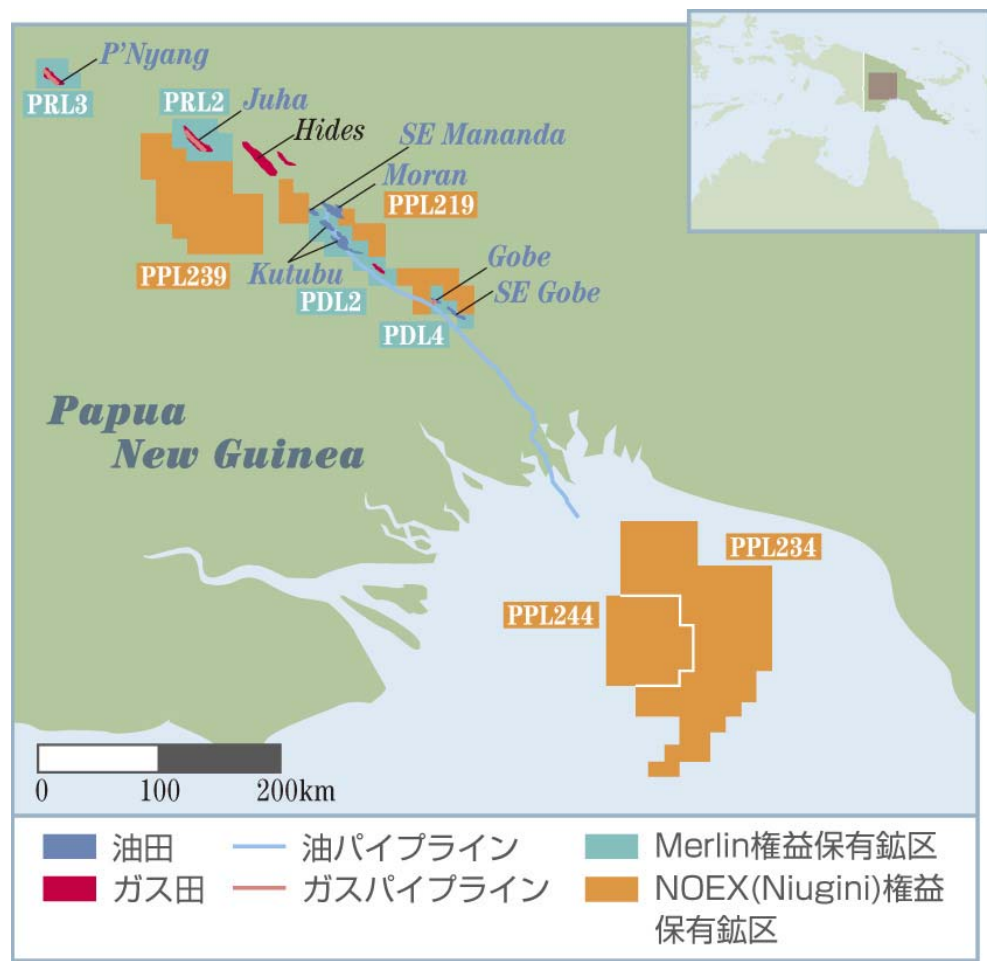
【権益比率】 12.2%(ユナイズ後)

【オペレーター】 BP

- ・1990年より試掘3坑を掘削し、天然ガスを発見。その後フォルワタ構造、ウリアガールディープ構造等において天然ガスを発見。
- ・2003年よりベラウ、ウリアガールおよびムツリの3鉱区のパートナー間で鉱区をユナイズし、共同開発作業を推進中。
- ・2009年6月にLNG生産開始、同7月に第1船出荷。

<個別プロジェクトの概要>

パプアニューギニア



【09年1-9月生産数量】 7,000b/d

【プロジェクト会社】 ()内 当社グループの出資比率
日本パプアニューギニア石油(株) (36.4%)
Nippon Oil Exploration (PNG) Pty. Ltd(100%)
Nippon Oil Exploration (Niugini)Pty. Ltd. (100%)

【権益比率】 8.3-73.5%

【オペレーター】 オイルサーチ、エクソンモービル

・1990年 パプアニューギニア探鉱鉱区の権益を保有するマーリン社を買収、その後クツブ、モラン、ゴベ、SEゴベ、SEマナダ油田において開発/生産事業を推進。

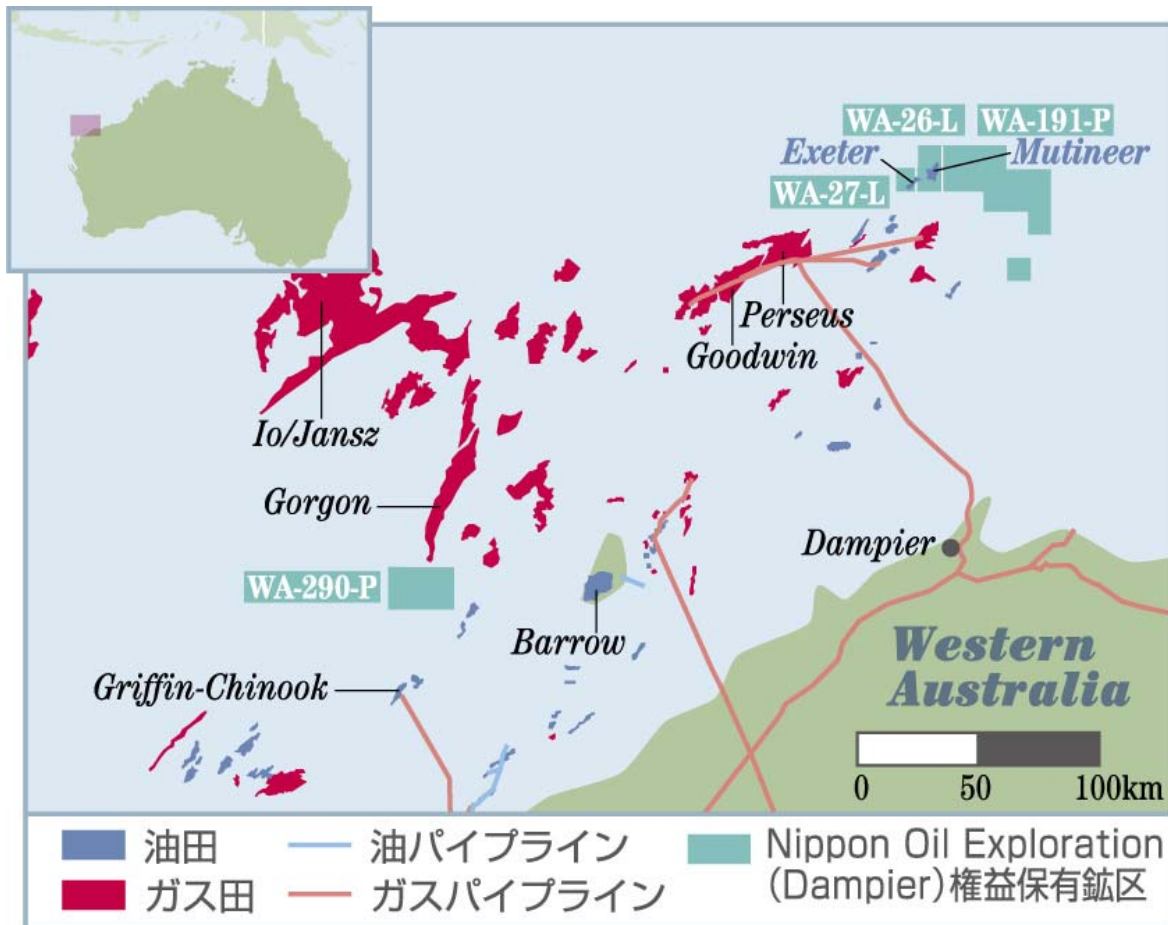
・2008年12月、AGL社よりLNGプロジェクト権益および油田権益を取得。

・2009年1月、オイルサーチ社より陸上・海上計5探鉱鉱区を新規取得。

・2009年12月PNG LNGプロジェクト参加企業間でLNGプロジェクト事業化に向けた最終投資決定に合意

<個別プロジェクトの概要>

オーストラリア①



【09年1-9月生産数量】 2,000b/d

【プロジェクト会社】()内 当社グループの出資比率
Nippon Oil Exploration (Dampier) Pty. Ltd. (100%)

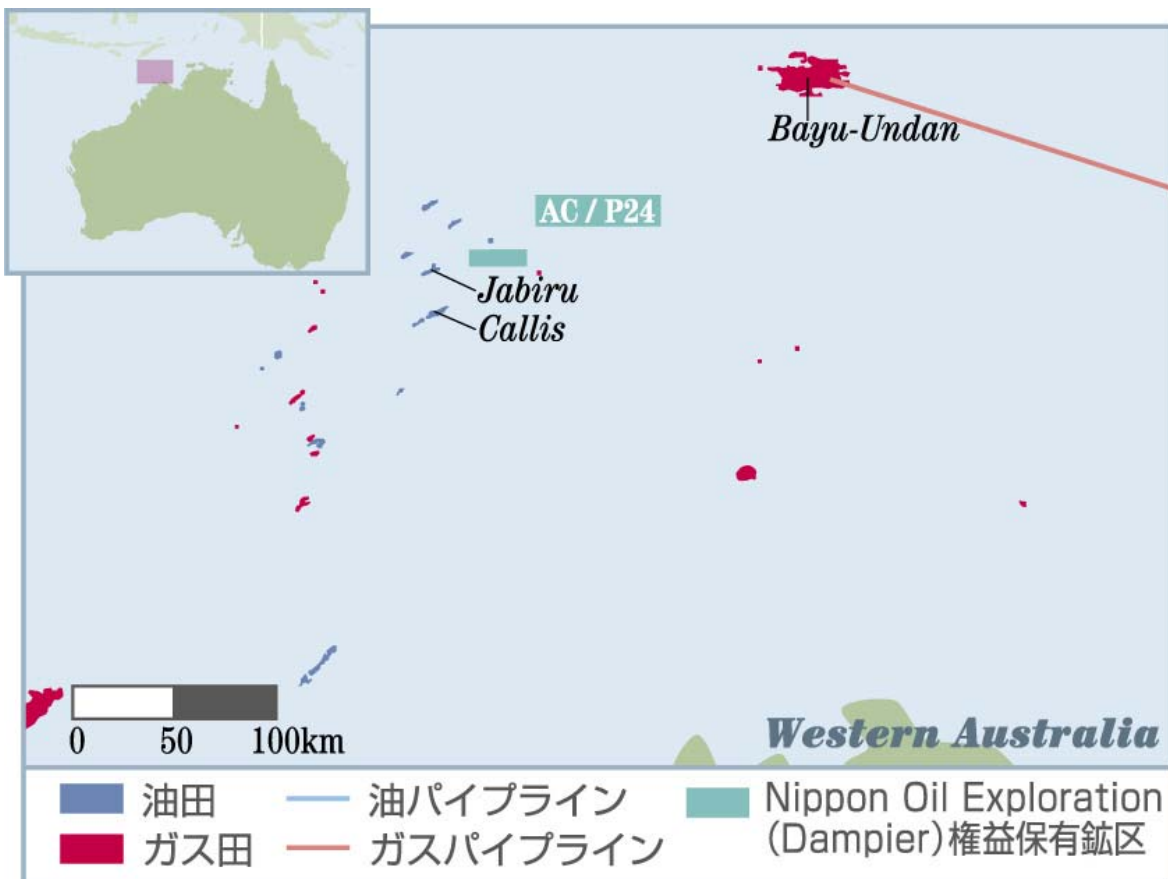
【権益比率】 25%

【オペレーター】 サントス

1997年 WA-191-P鉱区の権益25%を取得。その後、ムティニア油田、エクセター油田を発見し、2005年より生産開始。

<個別プロジェクトの概要>

オーストラリア②



【09年1-9月生産数量】 -

【プロジェクト会社】()内 当社グループの出資比率
Nippon Oil Exploration (Dampier) Pty. Ltd. (100%)

【権益比率】 30%

【オペレーター】 PTTEP

<個別プロジェクトの概要>

カナダ



【09年1-9月生産数量】 13,200 b/d

【プロジェクト会社】 ()内 当社グループの出資比率
日本カナダ石油(株)(100%)

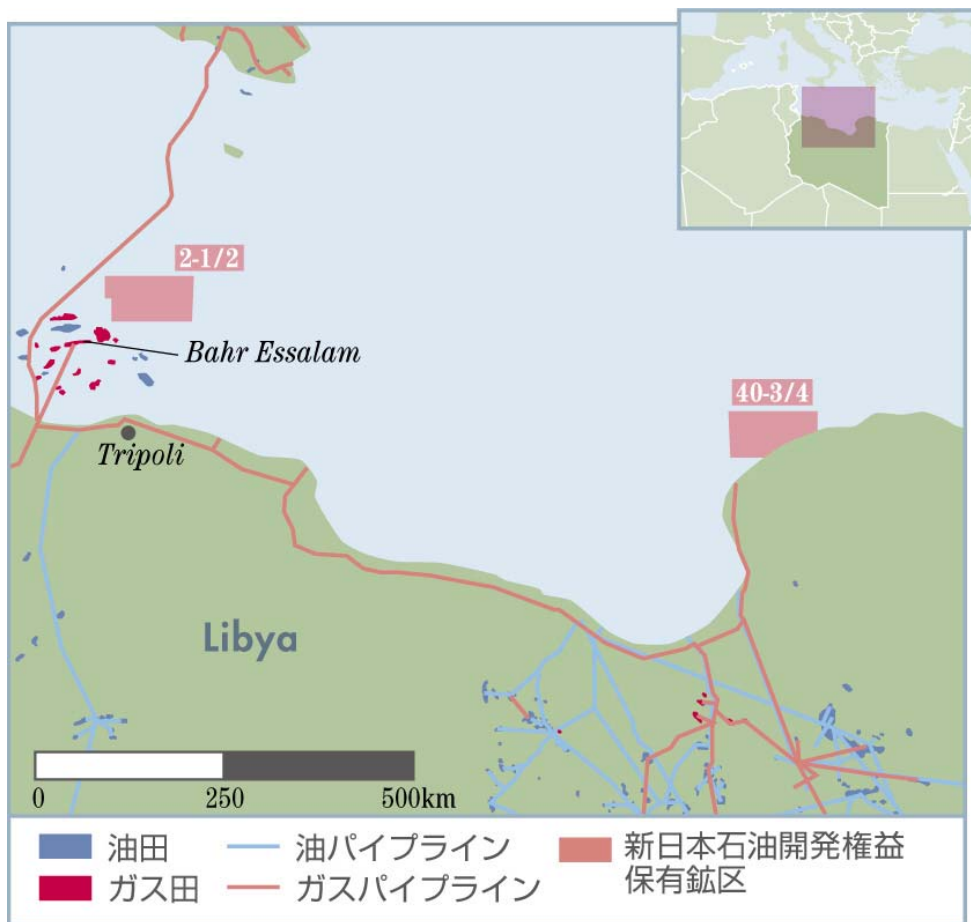
【権益比率】 5%

【オペレーター】 シンクルード・カナダ

・1992年ペトロカナダ社保有のシンクルード・プロジェクトの権益5%を取得。
その後、現地子会社Mocal Energy Ltd(新日本石油開発の100%出資)に権益を譲渡し、生産事業を推進中。

<個別プロジェクトの概要>

リビア



【09年1-9月生産数量】 -

【プロジェクト会社】
新日本石油開発(株)

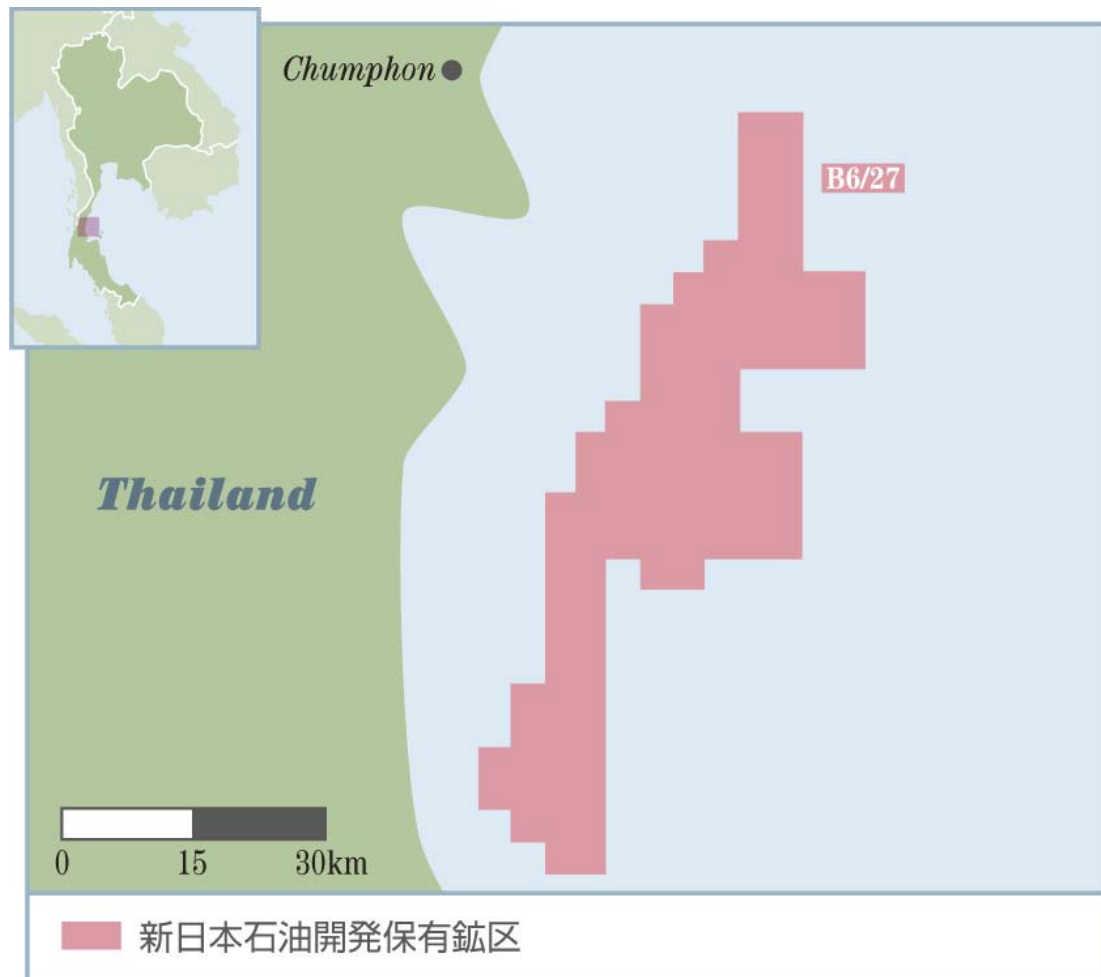
【権益比率】 90%(2-1/2鉱区)
38%(40-3/4鉱区)

【オペレーター】
新日本石油開発(株) (2-1/2鉱区)
(株)ジャベックスリビア (40-3/4鉱区)

・2005年10月公開入札にて地中海沿岸部(海上)の2鉱区(2-1/2、40-3/4)を落札。
探鉱作業を推進中。

<個別プロジェクトの概要>

タイ



【09年1-9月生産数量】 -

【プロジェクト会社】
新日本石油開発(株)

【権益比率】 40%

【オペレーター】 PTTEP Siam Limited
(PTTEPS)

- ・2007年12月タイランド湾 B6/27鉱区に関する
権益譲渡契約をPTTEPSと締結。
- ・2009年7月にコンセッション契約発効。
現在、探鉱作業中。

<見通しに関する注意事項>

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標等のうち、歴史的事実でないものにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営陣が判断したものであります。

実際の業績等につきましては、さまざまな要素により、これらの業績見通し等と大きく異なる結果になりうることをご承知置き下さい。従いまして、業績見通し等に全面的に依拠して投資判断を下すことは、控えていただきますようお願いいたします。

なお、実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油・石油化学製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。